

デジタル スチルカメラ

取扱説明書



<http://www.sony.co.jp/cyber-shot/support/>

やりたいことから探す

準備する

基本操作を確認する

静止画を撮る

動画を撮る

見る

カメラの設定を変える

パソコンで見る

機能を一覧で確認する



電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

Cyber-shot

DSC-RX100M2

誤った使いかたをしたときに生じる感電や傷害など人への危害、また火災などの財産への損害を未然に防止するため、次のことを必ずお守りください。



「安全のために」の注意事項を守る

定期的に点検する

1年に1度は、電源プラグ部とコンセントの間にほこりがたまっていないか、電源コードに傷がないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

カメラやACアダプター、バッテリー・チャージャーなどの動作がおかしくなったり、破損していることに気がついたら、すぐに相談窓口へご相談ください。

万一、異常が起きたら

変な音・
においがしたら
煙が出たら

- ➡ ① 電源を切る
② 電池をはずす
③ 相談窓口に連絡する

裏表紙に相談窓口の連絡先があります。

⚠ 危険 万一、電池の液漏れが起きたら

- ① すぐに火気から遠ざけてください。漏れた液体や気体に引火して発火、破裂のおそれがあります。
- ② 液が目に入った場合は、こすらず、すぐに水道水などきれいな水で充分に洗ったあと、医師の治療を受けてください。
- ③ 液を口に入れたり、なめた場合は、すぐに水道水で口を洗浄し、医師に相談してください。
- ④ 液が身体や衣服についたときは、水でよく洗い流してください。

警告表示の意味

この取扱説明書や製品では、次のような表示をしています。

⚠ 危険

この表示のある事項を守らないと、極めて危険な状況が起こり、その結果大けがや死亡にいたる危害が発生します。

⚠ 警告

この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が起こり、その結果大けがや死亡にいたる危害が発生することがあります。

⚠ 注意

この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が起こり、けがや財産に損害を与えることがあります。

注意を促す記号



火災



感電

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



ぬれ手禁止

行為を指示する記号



フラグをコンセントから抜く



指示

電池について

安全のためにの文中の「電池」とは、「バッテリーパック」も含みます。

お使いになる前に必ずお読みください

表示言語について

本機では、日本語のみに対応しています。その他の言語には変更できません。

メモリーカードのバックアップについて

アクセスランプ点灯中に電源を切ったり、バッテリーやメモリーカードを取り出したりすると、メモリーカードのデータが壊れことがあります。データ保護のため必ずバックアップをお取りください。

本機搭載の機能について

- 本機は1080 60i対応機です。
- 本機は、1080 60pの動画に対応しています。1080 60pとは、従来の標準的な記録モードがインターレースで記録するのとは異なり、プログレッシブで記録します。これにより解像度が増え、滑らかでよりリアルな映像を撮影することができます。

管理ファイル作成について

管理ファイルが作成されていないメモリーカードを本機に挿入し電源を入れると、メモリーカードの一部の容量を使って自動的に管理ファイルを作成するため、次の操作まで時間がかかることがあります。

管理ファイルエラーが発生した時は、「PlayMemories Home」すべての画像をパソコンに取り込んでから、本機でメモリーカードをフォーマットしてください。

録画・再生に際してのご注意

- メモリーカードの動作を安定させるために、メモリーカードを本機ではじめてお使いになる場合には、まず、本機でフォーマットすることをおすすめします。

フォーマットすると、メモリーカードに記録されているすべてのデータは消去され、元に戻すことはできません。大切なデータはパソコンなどに保存しておいてください。

- 長期間、画像の撮影・消去を繰り返しているとメモリーカード内のファイルが断片化(フラグメンテーション)して、動画記録が途中で停止してしまう場合があります。このような場合は、パソコンなどに画像を保存したあと、[フォーマット](83ページ)を行ってください。
- 必ず事前にためし撮りをして、正常に記録されていることを確認してください。
- 本機は防じん、防滴、防水仕様ではありません。「使用上のご注意」もご覧ください(97ページ)。
- 本機をぬらさないでください。水滴が内部に入り込むと、故障の原因になるだけでなく、修理できなくなることもあります。
- 日光および強い光に向けて本機を使用しないでください。故障の原因になります。
- 強力な電波を出すところや放射線のある場所で使わないでください。正しく撮影・再生ができないことがあります。
- 砂やはこりの舞っている場所でのご使用は故障の原因になります。

- 結露が起きたときは、結露を取り除いてからお使いください(97ページ)。
- 本機に振動や衝撃を与えないでください。誤作動したり、画像が記録できなくなるだけでなく、記録メディアが使えなくなったり、撮影済みの画像データが壊れことがあります。
- フラッシュの表面の汚れは取り除いてください。フラッシュ表面の汚れが発光による熱で発煙したり、焦げる場合があります。汚れ・ゴミがある場合は柔らかい布等で清掃してください。

カール ツアイスレンズ搭載

本機はカール ツアイスレンズを搭載し、シャープで、コントラストが良い画像を作り出すことを可能にしました。

本機のレンズは、ドイツカール ツアイスの品質基準に基づき、カール ツアイスによって認定された品質保証システムにより生産されています。

モニターおよびレンズについてのご注意

- モニターは有効画素99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現れたり、白や赤、青、緑の点が消えないことがあります。これは故障ではありません。これらの点は記録されません。
- バッテリー残量がなくなると、レンズが出たまま動きが止まることがあります。充電されたバッテリーを取り付けて、再度電源を入れてください。
- モニターを持って本機を持ち運ばないでください。

ソニー製純正アクセサリーをお使いください

純正品以外のアクセサリーをお使いになると、故障の原因になることがあります。

フラッシュについて

- フラッシュ部を持ったり、無理な力を加えないでください。
- 上がったフラッシュ部に水滴や砂埃が入ると故障の原因になります。

本機の温度について

本機を連続して使用した場合、本体やバッテリーの温度が高くなります。故障ではありません。

温度保護機能について

本機やバッテリーの温度によっては、カメラを保護するために自動的に電源が切れたり、動画撮影ができなくなることがあります。電源が切れる前や撮影ができなくなった場合は、モニターにメッセージが表示されます。このような場合、本機やバッテリーの温度が充分下がるまで電源を切ったままお待ちください。充分に温度が下がらない状態で電源を入れると、再び電源が切れたり動画撮影ができなくなることがあります。

画像の互換性について

- 本機は、(社)電子情報技術産業協会(JEITA)にて制定された統一規格 "Design rule for Camera File system"(DCF)に対応しています。
- 本機で撮影した画像の他機での再生、他機で撮影/修正した画像の本機での再生は、ともに保証いたしません。

AVCHD動画のパソコンへの取り込みについて

AVCHD動画をパソコンに取り込むときは、Windowsの場合はソフトウェア「PlayMemories Home」、Macの場合はMacにバンドルされているソフトウェア「iMovie」を使用してください。

無線に関する設定(Wi-Fiなど)を一時的に無効にする

飛行機などに搭乗するとき、無線に関する設定を一時的にすべて無効することができます。

MENU → 4 → [飛行機モード] → [入]を選択してください。

- 設定を[入]にすると、モニターに (飛行機マーク)が表示されます。

認証マークの表示について

本機が対応している認証マークの一部は、本機の画面上で確認することができます。

MENU → 4 → [認証マーク表示]を選択してください。

本機の故障などの問題により表示できない場合は、相談窓口にご相談下さい。

本機で撮影した動画を、他機で再生する際のご注意

- 本機は、AVCHD方式の記録に MPEG-4 AVC/H.264のHigh Profile を採用しております。このため、本機でAVCHD方式で記録した動画は、次の機器では再生できません。

– High Profileに対応していない他のAVCHD規格対応機器

– AVCHD規格非対応の機器

また、本機は、MP4方式の記録に

MPEG-4 AVC/H.264のMain Profile を採用しております。このため、本機でMP4方式で記録した動画は

MPEG-4 AVC/H.264の対応機器以外では再生できません。

- ハイビジョン画質(HD)で記録したディスクはAVCHD規格対応機器でのみ、再生できます。

DVDプレーヤーやDVDレコーダーは AVCHD規格に非対応のため、ハイビジョン画質(HD)で記録したディスクを再生できません。また、これらの機

器にAVCHD規格で記録したハイビジョン画質(HD)のディスクを入れた場合、ディスクの取り出しができなくなる可能性があります。

- 1080 60pの動画は対応機器以外では再生できません。

機器認定について

本製品は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の無線設備として、工事設計認証を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。

ただし、以下の事項を行うと法律に罰せられることがあります。

- 本製品を分解/改造すること

周波数について

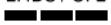
本製品は2.4GHz帯で使用できますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

この機器のネットワークモードでの使用時の注意事項

本製品の使用周波数は2.4GHz帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局(免許を要する無線局)等(以下「他の無線局」と略す)が運用されています。

- 1.本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
- 2.万一、本製品と「他の無線局」に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、電波の発射を停止してください。
- 3.その他、この機器から「他の無線局」に対して有害な電波干渉の実例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、相談窓口へお問い合わせください。相談窓口については、本取扱説明書の裏表紙をご覧ください。

2.4DS / OF2



この無線機器は
2.4GHz帯を使用し
ます。変調方式とし
てDSSS/OFDM 変
調方式を採用し、与
干渉距離は20m以
下です。

ワイヤレスLAN機能の使用地域について

ワイヤレスLAN機能は、日本国内でのみ使用できます。

著作権について

あなたがカメラで撮影したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

撮影内容の補償はできません

万一、カメラや記録メディアなどの不具合により撮影や再生がされなかった場合、画像や音声などの記録内容の補償については、ご容赦ください。

ワイヤレスLANに関するご注意

紛失や盗難などによって本機に搭載されている接続先への不正アクセスや利用などが行われ、被害や損害が発生しても、弊社では一切の責任を負いかねます。

目次

安全のために	2
お使いになる前に必ずお読みください.....	3
「サイバーショットユーザーガイド」について	11
やりたいことから探す	
やりたいことから探す	12
準備する	
付属品を確認する	14
リストストラップを使う	14
ショルダーストラップ(別売)を使う	14
各部の名前を確認する.....	15
バッテリー充電と使用可能枚数・時間.....	17
バッテリーを取り出す	19
パソコンに接続して充電する.....	19
バッテリーの使用時間と撮影/再生枚数	20
メモリーカード(別売)を入れる.....	21
メモリーカードを取り出す	21
日付と時刻を設定する.....	22
日付と時刻を合わせ直す	22
基本操作を確認する	
操作方法を確認する	23
コントロールホイールの使いかた	23
コントロールリングの使いかた	23
Fn(ファンクション)ボタンで選ぶ	25
MENUボタンで選ぶ.....	26
カメラ内ガイドを見る	27
撮影アドバイス	27
静止画を撮る	
自動で最適な設定で撮る(オート撮影).....	28
状況を自動判別して撮る(おまかせオート/	
プレミアムおまかせオート)	29

オート撮影の特徴	30
より大きくズームする(全画素超解像ズーム)	31
ズーム倍率	32
フラッシュモードを選ぶ.....	33
使用可能なフラッシュモード	34
モニター表示を変える(DISP)	35
画像のサイズを選ぶ.....	36
画質を選ぶ(RAW/JPEG)	37
静止画の撮影モードを変える(モードダイヤル)	39
カメラまかせで自動撮影する.....	39
好みの設定で撮影する	40
その他の撮影モードで撮影する	40
パノラマ画像を撮る.....	41
場面に合った撮影モードを使う	43
(シーンセレクション).....	43
絞りとシャッタースピードを好みの設定にする	44
背景のぼかし具合を調節して撮る(絞り優先)	44
動くものの表現を変えて撮る	45
(シャッタースピード優先)	45
思い通りの露出で撮る(マニュアル露出)	46
ピントを合わせる	47
ピント合わせの方法を選ぶ.....	47
ピントを合わせるエリアを選ぶ	47
(オートフォーカスエリア).....	47
被写体にピントを合わせ続けて撮る	48
(追尾フォーカス)	48
ピントを手動で好みの位置に合わせる	49
(マニュアルフォーカス)	49
好みの効果を使って印象的に撮る	51
(ピクチャーエフェクト)	51
明るさを調整する(露出補正)	53
ISO感度を選ぶ	54
連続して撮る(連写)	55
セルフタイマーで撮る	56
かんたんな操作で好みの設定にして撮る	57
(マイフォトスタイル)	57
撮影機能を自分好みにカスタマイズする	58

登録した設定を呼び出して撮影する(MR)	58
Fn(ファンクション)ボタンの設定機能を変える ...	58
コントロールリングの設定機能を変える	59

動画を撮る

動画を撮る	61
動画の記録方式/画質を選ぶ	62
絞りとシャッタースピードを設定して 動画を撮る	63
動画を撮りながら静止画を撮る(デュアル記録) ...	63

見る

静止画を見る	65
動画を見る	66
素早く探す(一覧表示)	67
削除する	68
その他の再生機能を使う	68

カメラの設定を変える

電子音の設定を変える	69
静止画に撮影日付を入れる	69

パソコンで見る

「PlayMemories Home」を使う	70
「PlayMemories Home」でできること	70
「PlayMemories Home」をインストールする	71
「PlayMemories Home ヘルプガイド」を見る.....	72
画像をパソコンに取り込む	72
「Image Data Converter」を使う	74
「Image Data Converter」でできること	74
「Image Data Converter」をインストールする	74
「Image Data Converterガイド」を見る	75

機能を一覧で確認する

MENUボタンで選ぶ機能一覧	76
静止画撮影メニュー	76
動画撮影メニュー	79
カスタムメニュー	80
再生メニュー	82
メモリーカードツールメニュー	83
時計設定メニュー	84
セットアップメニュー	84
撮影モードごとの設定できない機能	87
モニターに表示されるアイコン一覧	88

その他

使用できるメモリーカード	91
静止画の記録可能枚数と動画の記録可能時間	92
静止画	92
動画	93
故障かな？と思ったら	94
使用上のご注意	97
保証書とアフターサービス	100
安全のために	101
主な仕様	105
索引	108

- Wi-Fiを使った機能については別紙の「Wi-Fi機能/NFCワンタッチ機能を使われるお客様へ」をご覧下さい。

「サイバーショットユーザーガイド」について



「サイバーショットユーザーガイド」はオンラインで見るマニュアルです。本書と併せてご活用ください。
さらに詳しい使い方をご覧頂けます。

1 サポートページにアクセスする。

http://www.sony.jp/support/manual_dsc.html

2 サイト内で本機の型名を探して「ユーザーガイド(HTML)」を開く。

型名は本機の底面をご覧ください。

検索エンジンで探す

お使いの検索エンジンで「型名」、「ユーザーガイド」を入力して検索することもできます。

やりたいことから探す

カメラまかせできれいに撮りたい

 + (プレミアムおまかせオート)で撮る	29, 39
シーンセレクションで好みのモードを選んで撮る	43

動画を撮りたい

MOVIE(動画)ボタンでかんたんに撮る	61
動画を撮りながら静止画を撮る	63
動画の記録方式と画質を設定する	62
好みの設定で動画を撮る	63

薄暗い場所でもブレずに撮りたい

 + (プレミアムおまかせオート)で撮る	29, 39
シーンセレクションの  (人物ブレ軽減)、  (手持ち夜景)、  (高感度)で撮る	43
ISO感度を上げる	54
セルフタイマーを使って手ブレを抑える	56
フラッシュを発光する	33

動いている被写体を撮りたい

シーンセレクションの  (スポーツ)を使う	43
追尾フォーカスでピントを合わせ続ける	48
連続撮影で複数枚撮る	55
シャッタースピードを上げてブレずに撮る	45

背景をぼかして撮りたい

絞りを好みの設定にして撮る	44
---------------	----

逆光でもきれい撮りたい

 + (プレミアムおまかせオート)で撮る	29, 39
フラッシュを発光して撮る	33

被写体に近づいて撮りたい

シーン認識 (マクロ)で撮る	29
撮影可能な最短距離を確認する	28

好みの設定で思いどおりに撮りたい

多彩な機能を設定できる撮影モードにする (撮影モードP/A/S/M)	30, 44, 45, 46
ピントを手動で好みの位置に合わせる	49
水準器を確認して、カメラを水平にして撮る	35
気にいった設定をカメラに覚えさせる(MR)	58
Fn(ファンクション)ボタンで 好みの設定にする	25, 58
かんたんな操作で設定を変更して撮る (マイフォトスタイル)	57

日付を設定したい/撮影日を入れたい

日付を設定する/変更する	22, 84
静止画に撮影日を挿入する	69, 78

パソコンに画像を取り込んで観賞したい

「PlayMemories Home」をインストールする	71
「PlayMemories Home」で画像を パソコンに取り込む	72

動画のディスクを作成したい

AVCHD動画からディスクを作成する	70
--------------------------	----

- Wi-Fiを使った機能については別紙の「Wi-Fi機能/NFCワンタッチ機能を使われるお客様へ」をご覧下さい。

付属品を確認する

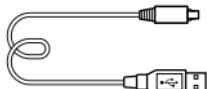
万一、不足の場合はお買い上げ店にご相談ください。

()内の数字は個数です。

- リチャージャブルバッテリー^ー
パックNP-BX1 (1)



- マイクロUSBケーブル (1)



- ACアダプター
AC-UB10/UB10B/UB10C/UB10D
(1)



- リストストラップ (1)



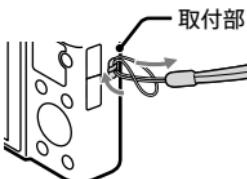
- ストラップアダプター (2)



- 取扱説明書(本書) (1)
- 保証書 (1)

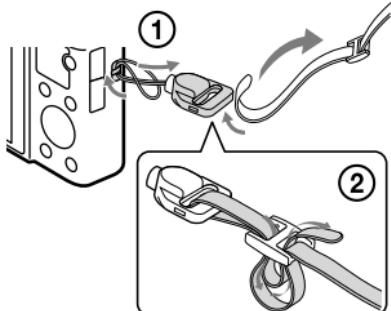
リストストラップを使う

落下防止のため、ストラップを取り付け、手を通してご使用ください。



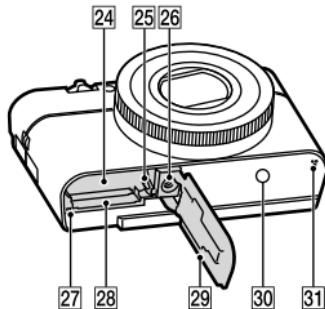
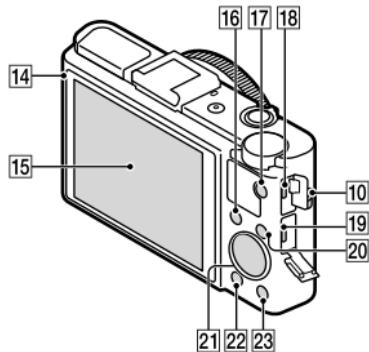
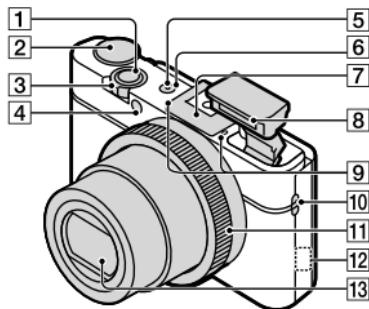
ショルダーストラップ(別売)を使う

- ストラップアダプターをカメラのストラップ取り付け部(2箇所)にそれぞれ取り付ける。
- ストラップアダプターにショルダーストラップ(別売)を取り付ける。



各部の名前を確認する

()内の数字は参照ページです。



[1] シャッター ボタン (28)

[2] モード ダイヤル (39)

[3] 撮影時 : W/T(ズーム) レバー

(28, 31)

再生時 : インデックス

(67) /

再生ズーム レバー (65)

[4] セルフタイマー ランプ

(56) /

スマイルシャッターランプ

(77) /

AF補助光 (78)

[5] 電源/充電ランプ (18)

オン オフ

[6] ON/OFF(電源) ボタン

(22)

[7] マルチインターフェース
シュー*

[8] フラッシュ (33)

- フラッシュの近くに指を置かないでください。
- フラッシュが発光するときは、フラッシュ部が自動で上がりります。使わないときは手で押して元に戻してください。

[9] マイク

[10] ストラップ取り付け部
(14)

[11] コントロール リング (23)

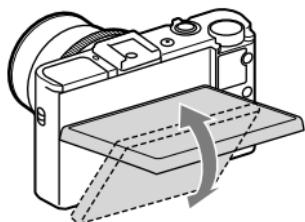
[12] Wi-Fi受信部(内部)

[13] レンズ

[14] 明るさセンサー

[15] 液晶モニター

- モニターを見やすい角度に調整して、自由なポジションで撮影できます。



**[16] Fnボタン (25, 58)
ムービー**

[17] MOVIE (動画) ボタン (61)

[18] マルチ端子 (18, 71)

- この商品にはマイクロUSB規格に対応した機器をつなぐことができます。

**[19] HDMIマイクロ端子
メニュー**

[20] MENUボタン (26)

[21] コントロールホイール (23)

[22] ▶ (再生) ボタン (65)

[23] ?/廃 (カメラ内ガイド/削除) ボタン (27, 68)

[24] バッテリー挿入口 (17)

[25] バッテリー取りはずしつまみ (17, 19)

[26] 三脚用ネジ穴

- ネジの長さが5.5mm未満の三脚を使う。5.5mm以上の三脚ではしっかりと固定できず、本機を傷つけることがあります。

[27] アクセスランプ (21)

[28] メモリーカード挿入口 (21)

[29] バッテリー/メモリーカードバー (17, 21)

[30] N (Nマーク)

- NFC機能搭載のスマートフォンと本機を無線接続するときにタッチします。
- NFC(Near Field Communication)は近距離無線通信技術の国際標準規格です。

[31] スピーカー

* マルチインターフェースキー対応アクセサリーについて詳しくは、専用サポートサイトでご確認ください。

<http://www.sony.co.jp/cyber-shot/support/>
アクセサリーシュー対応のアクセサリーも使用できます。他社のアクセサリーを取り付けた場合の動作は保証できません。

Multi Interface Shoe

Accessory Shoe

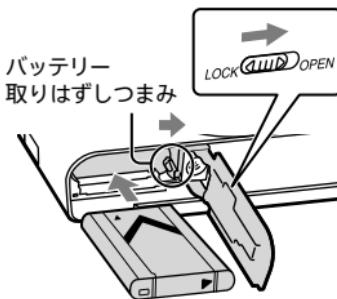
バッテリー充電と使用可能枚数・時間

初めてお使いになるときは、バッテリーを充電してください。

充電したバッテリーは、使わなくとも少しづつ放電しています。撮影機会を逃さないためにも、ご使用前に充電してください。

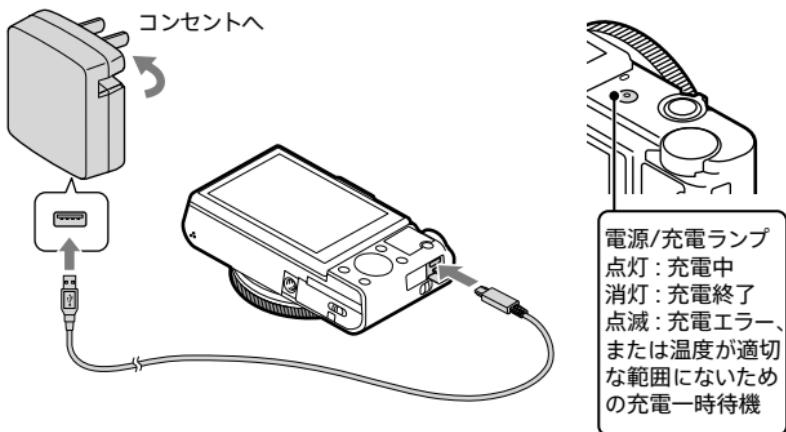
1 カバーを開けてバッテリーを入れる。

バッテリーの向きを確認し、
バッテリー取りはずしつまみを押しながら
入れます。



2 カバーを閉じる。

3 本機とACアダプター(付属)をマイクロUSBケーブル(付属)でつなぎ、ACアダプターをコンセントに差し込む。



充電時間の目安

約230分で充電できます。

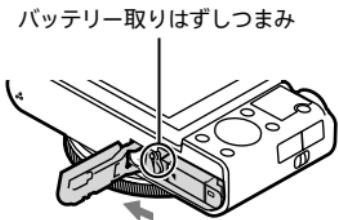
- 充電中は本機の電源を切った状態にしておいてください。
- 残量があるバッテリーも充電できます。
- バッテリー(付属)を使い切ってから、温度25 °Cの環境下で充電したときの時間です。使用状況や環境によっては、長くかかります。

ご注意

- 電源/充電ランプが点滅し充電が完了しなかった場合は、一度バッテリーを取りはずし、再度装着してください。
- バッテリーの充電は周囲の温度が10°C～30°Cの環境で行ってください。
- ACアダプターは手近なコンセントを使用してください。本機を使用中、不具合が生じたときはすぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。
- 充電が終わったら、ACアダプターをコンセントから抜いてください。
- 本機と付属のACアダプターをつないだ状態で撮影や再生を行っても、電力は供給されません。ACアダプターAC-UD10(別売)を使用すると電力が供給された状態で撮影、再生を行えます。

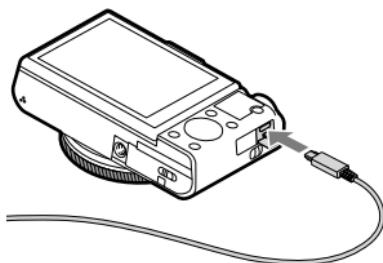
バッテリーを取り出す

バッテリー取りはずしつまみをずらす。
バッテリーが押し出されるので、落下しないように注意する。



パソコンに接続して充電する

マイクロUSBケーブルを使って、パソコンからの充電も可能です。
電源を切った状態で繋いでください。



←パソコンのUSB端子へ

- 電源を入れた状態で本機とパソコンを繋ぐと電力が供給され、バッテリーの消費を心配せずに画像をパソコンに取り込むことができます。

ご注意

- パソコンから充電するときは、以下の点にもご注意ください。
 - 電源を接続していないノートパソコンと本機を接続した場合、ノートパソコンの電池が消耗していきます。長時間充電しないでください。
 - 本機をUSB接続したままパソコンの起動、再起動、スリープモードからの復帰、終了操作を行わないでください。本機が正常に動作しなくなることがあります。これらの操作は、パソコンから本機を取りはずしてから行ってください。
 - 自作のパソコンや改造したパソコンでの充電は保証できません。

バッテリーの使用時間と撮影/再生枚数

	使用時間	枚数
静止画撮影	約175分	約350枚
実動画撮影	約45分	—
連続動画撮影	約80分	—
静止画再生	約250分	約5000枚

ご注意

- 撮影枚数は満充電されたバッテリーを使用した場合の目安です。撮影枚数は使用方法により減少する場合があります。
- 撮影枚数は、以下の条件で撮影した場合です。
 - 当社製の“メモリースティック PRO デュオ”(Mark2)(別売)を使用
 - 温度25°Cの環境
- 静止画撮影時の数値は、CIPA規格により、以下の条件で撮影した場合です。
(CIPA : カメラ映像機器工業会、
Camera & Imaging Products Association)
 - DISP : [全情報表示]
 - 30秒ごとに1回撮影
 - 1回ごとにズームをW側、T側に交互に最後まで動かす。
 - 2回に一度、フラッシュを発光する。
 - 10回に一度、電源を入/切する。
- 動画撮影時の数値は、CIPA規格により、以下の条件で撮影した場合です。
 - 記録設定 : 60i 17M(FH)
 - 実動画撮影 : 撮影、ズーム、撮影スタンバイ、電源入/切を繰り返した場合の目安。
 - 連続動画撮影 : 連続撮影の制限(29分)により撮影が終了したときは、再度 MOVIE(動画)ボタンを押して撮影を続ける。ズームなどその他の操作はしない。
- バッテリー残量が表示されない場合は、DISP(画面表示切換)を押して表示してください(35ページ)。

メモリーカード(別売)を入れる

本機で使用できるメモリーカードは、“メモリースティック XC デュオ”、“メモリースティック PRO デュオ”とSDカードです。詳しくは91ページをご覧ください。

1 カバーを開けてメモリーカード(別売)を入れる。

切り欠き部をイラストの向きにして、入れてください。

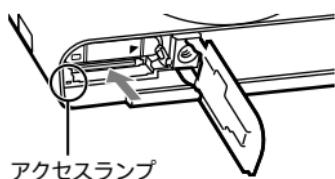


切り欠きの向きに注意する

2 カバーを閉じる。

メモリーカードを取り出す

アクセスランプが消えていることを確認して、メモリーカードを押す。



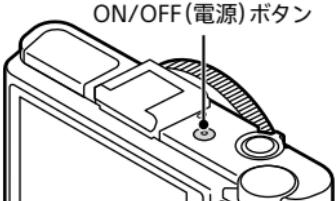
ご注意

- アクセスランプ点灯中は、メモリーカードやバッテリーを取り出さないでください。データやメモリーカードが壊れることがあります。

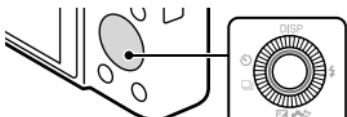
日付と時刻を設定する

1 ON/OFF(電源)ボタンを押す。

電源が入る。



2 [実行]が選ばれていることを確認し、コントロールホイール中央の●を押す。



コントロール
ホイール

3 [東京/ソウル]が選ばれていることを確認し、中央の●を押す。

4 コントロールホイールの◀/▶を押す、またはホイールを回して設定する項目を選び、▲/▼で数値を設定する。

真夜中は12:00AM、正午は12:00PMとなる。

5 手順4を繰り返して、すべて設定し、中央の●を押す。

6 [実行]が選ばれていることを確認し、中央の●を押す。

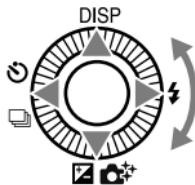
日付と時刻を合わせ直す

はじめて電源を入れたときのみ、自動で日時設定画面が開きます。日時を合わせ直すときは、MENUボタンを押して、①1 → [日時設定]を選び、日時設定画面を開いてください。

操作方法を確認する

コントロールホイールの使いかた

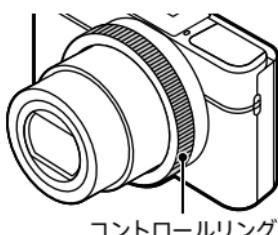
撮影時、コントロールホイールの▲/▼/◀/▶には下記の機能が割り当てられています。また、コントロールホイールを回して、撮影モードごとに必要な設定を即座に変更できます。



DISP	画面表示切換(DISP) (35ページ)
⚡	フラッシュモード(33ページ)
☒/☒	露出補正(53ページ) /マイフォトスタイル(57ページ)
◎/□	ドライブモード • 連続撮影/プラケット(55ページ) • セルフタイマー(56ページ)

- コントロールホイールを回したり上下左右を押したりすると、選択枠を動かすことができます。選んだ項目は中央の●を押すと決定されます。本書ではコントロールホイールの上下左右を押す動作を▲/▼/◀/▶で表現しています。
- 再生時に、コントロールホイールの◀/▶を押す、またはホイールを回すことで前/次の画像を表示することができます(65ページ)。
- 撮影時の◀/▶ボタンにはお好みの機能を割り当てることができます(81ページ)。

コントロールリングの使いかた



コントロールリングを回したときの機能

コントロールホイールを回したときの機能

Av : 絞り値

Tv : シャッタースピード

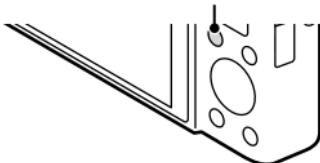
コントロールリングを回して、撮影モードごとに必要な設定を即時に変更できます。よく使う機能を割り当てることもできます(59ページ)。

Fn(ファンクション)ボタンで選ぶ

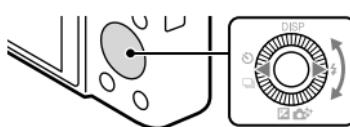
Fn(ファンクション)ボタンにはよく使う機能を7つまで登録しておくことができ、撮影時に各機能の設定を変更できます。

1 撮影画面でFn(ファンクション) ボタンを押す。

Fn(ファンクション)ボタン

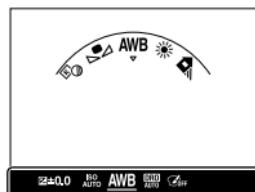


2 Fn(ファンクション)ボタンを繰り 返し押す、またはコントロールホ イールの◀/▶で設定する機能を 選ぶ。



3 コントロールホイールまたはコン トロールリングを回して希望の設 定を選び、中央の●を押す。

さらに微調整可能な場合は、コントロールホイール
の▼を押して設定画面を表示できます。



お買い上げ時に登録されている機能

- [露出補正] (53ページ)
- [ISO感度] (54ページ)
- [ホワイトバランス] (77ページ)
- [DRO/オートHDR] (77ページ)
- [ピクチャーエフェクト] (51ページ)

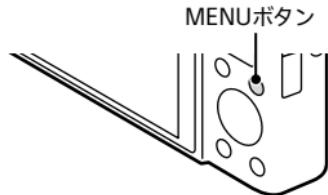
その他登録できる機能の一覧と、登録方法は58ページをご確認ください。

MENUボタンで選ぶ

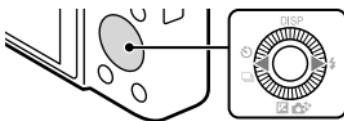
撮影、再生、操作方法などカメラ全体に関する設定の変更や、機能の実行を行えます。

設定項目の一覧は76ページをご確認ください。

-
- 1 MENUボタンを押して、メニュー画面を表示する。



-
- 2 コントロールホイールの◀/▶でメニューのページを選ぶ。



-
- 3 ▲/▼を押す、またはホイールを回して設定したい項目を選び、中央の●を押す。

-
- 4 画面の指示に従って項目を選び、中央の●を押して決定する。
-

カメラ内ガイドを見る

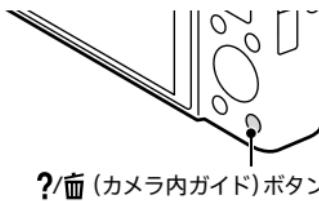
MENU、Fn(ファンクション)の機能や設定に関する説明を表示します。

1 MENUボタン、またはFn(ファンクション)ボタンを押す。

2 コントロールホイールの▲/▼/◀/▶で説明を見たい項目で選ぶ。

3 ?/■ (カメラ内ガイド)ボタンを押す。

手順2で選んだ項目の説明が表示される。



撮影アドバイス

選んでいる撮影モードに応じたアドバイスを表示します。

1 撮影画面で ?/■ (カメラ内ガイド)ボタンを押す。

2 コントロールホイールの▲/▼で見たい撮影アドバイスを選び、中央の●を押す。

撮影アドバイスが表示される。

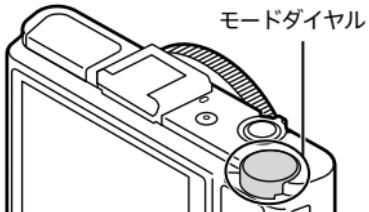
- ▲/▼で画面をスクロールできます。
- ◀/▶で項目を変更できます。

撮影アドバイスを全部見るには

- MENU → ■ 5 → [撮影アドバイス一覧] すべての撮影アドバイスを表示することができます。

自動で最適な設定で撮る(オート撮影)

1 モードダイヤルを (おまかせオート)にする。



2 脇を締めて構え、構図を決める。

- W/T(ズーム)レバーをT側へ動かすとズームし、W側へ動かすと戻ります。大きくズームしたい場合は、31ページをご覧ください。
- レンズに指がかからないようにしてください。
- フラッシュの上に指を置かないでください。



3 シャッターボタンを半押しして、ピントを合わせる。

- ピントが合うと「ピピッ」という音がして
- または  が点灯する。
 - フラッシュが発光するときは、フラッシュ部が自動で上がります。使わないときは手で押して元に戻してください(33ページ)。
 - ピントが合う最短の撮影距離(レンズ先端から被写体まで)はW側で約5cm、T側で約55cmです。
 - 本機では状況に応じて、自動でマクロ撮影になります。



4 シャッター ボタンを深く押し込む。

- 撮影直後に、撮影した画像が表示されます。シャッター ボタンを半押しすると、画像の表示を解除できます。

状況を自動判別して撮る(おまかせオート /プレミアムおまかせオート)

モードダイヤルを*i* (おまかせオート)、
i+ (プレミアムおまかせオート) にすると、カメラが自動でシーンを認識して最適な設定で撮影します。動画撮影中もシーンを認識します。

1 被写体にカメラを向ける。

認識されたシーンのマークとガイドがモニターに表示される。

上段： (人物)、 (赤ちゃん)、
 (夜景 & 人物)、 (夜景)、
 (逆光&人物)、 (逆光)、
 (風景)、 (マクロ)、
 (スポットライト)、
 (低照度)

下段： (三脚)、 (動き)、 (歩き)

 (歩き)は、動画撮影時にMENU →  1 → [手ブレ補正] が[アクティブ]に設定されているときのみ認識されます。



シーン認識マークとガイド
(ガイドは上段のみ)

2 シャッター ボタンを半押ししてピントを合わせてから、シャッター ボタンを深く押し込んで撮影する。

オート撮影の特徴

プレミアムおまかせオートは、おまかせオートよりもさらに高画質で撮影し、必要に応じて重ね合わせ撮影を行います。

プログラムオートは、ホワイトバランスやISOなど多彩な機能の設定を変えて撮るときに使います。

撮影モード	こんなときに使う
(おまかせオート)	<ul style="list-style-type: none">カメラまかせでシーン認識をして、何枚も続けて撮影したいとき
(プレミアムおまかせオート)	<ul style="list-style-type: none">暗いシーンや逆光などの失敗しやすいシーンをきれいに撮影したいとき (おまかせオート)よりも高画質な画像を撮影したいとき
(プログラムオート)	<ul style="list-style-type: none">露出(シャッタースピードと絞り)以外の多彩な撮影機能を自分で調整して撮影したいとき

撮影のテクニック

- [プログラムオート]時にコントロールホイールを回すと、露出を固定したままシャッタースピードと絞りの組み合わせを変更できます(P*プログラムシフト)。

ご注意

- [おまかせオート]では、暗いシーンや逆光のシーンなどを美しく撮影できないことがあります。
- [プレミアムおまかせオート]では、重ね合わせ処理をするため、記録処理に時間がかかります。□†(重ね合わせアイコン)が表示され、シャッター音が複数回聞こえる場合があります。記録される画像は1枚です。
- [おまかせオート]、[プレミアムおまかせオート]の場合、多くの機能が自動設定となり、自分で変更できません(87ページ)。

より大きくズームする (全画素超解像ズーム)

本機は光学3.6倍までズームします。

[全画素超解像ズーム]を[入]に設定すると、光学ズーム倍率を超えても、ほとんど劣化しない静止画を撮影できます。

1 MENUボタン → 4 → [全画素超解像ズーム] → [入]を選ぶ。

最大倍率までズームするには

MENU → 4 → [デジタルズーム] → [入]に設定すると、最大54倍までズームできます(VGA時)。ただし、ズーム倍率によっては画質が劣化します。

撮影のテクニック

- 画質が劣化しない範囲でのみ光学ズーム倍率以上にズームしたい場合は、[全画素超解像ズーム]と[デジタルズーム]をどちらも[切]に設定して、[画像サイズ]を[L]以外にしてください。

ご注意

- [画質]が[RAW]、[RAW+JPEG]のときは光学ズームのみ使用できます。
- 以下の場合は[全画素超解像ズーム]は使えません。[デジタルズーム]に切り換わります。
 - [ドライブモード]が[連続撮影]、[速度優先連続撮影]、[連続ブラケット]のとき
 - 動画撮影時

ズーム倍率

画像サイズによって、ズームできる倍率は変わります。

[横縦比]が[3:2]のとき

画像サイズ	[全画素超解像ズーム]を[入]	[デジタルズーム]を[入] (最大ズーム倍率)
L:20M	7.2倍	14倍
M:10M	10倍	20倍
S:5.0M	14倍	28倍

フラッシュモードを選ぶ

1 コントロールホイールの

⚡ (フラッシュモード) → 好みの
モードを選ぶ。

コントロールホイールに他の機能が割り当てられている場合は、MENUボタン → [] 2 → [フラッシュモード] から選べます。

① (発光禁止) : 発光しない。

AUTO (自動発光) : 暗い場所、または逆光のとき、自動で発光する。

⚡ (強制発光) : 必ず発光する。

SLOW (スローシンクロ) : 必ず発光する。暗い場所ではシャッタースピードを遅くし、フラッシュが届かない背景も明るく撮影する。

REAR (後幕シンクロ) : 露光が終わる直前のタイミングで必ず発光する。走っている自動車など動いている被写体を撮ると、動きの軌跡が自然な感じに撮れる。

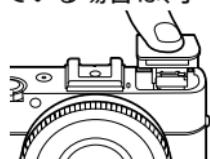


ご注意

- ズームをW側にしてフラッシュ撮影すると、撮影状況によってはレンズの影が写ることがあります。この場合は被写体から離れて撮影するか、ズームをT側にしてフラッシュ撮影してください。

フラッシュについて

- フラッシュが発光するときは、フラッシュ部が自動で上がります。フラッシュの近くに指を置かないでください。
- フラッシュを使わないときにフラッシュ部が上がっている場合は、手で押して元に戻してください。



- フラッシュが不要な場合は、あらかじめフラッシュモードを [発光禁止] にしておくと、フラッシュ部が自動で上がらなくなります。

使用可能なフラッシュモード

設定している撮影モードや機能によって、選べるフラッシュモードが異なります。

下の表で○は選択可能、×は選択不可能を表しています。

選択できないフラッシュモードはグレーで表示されます。

撮影モード/その他設定					
i (おまかせオート)	○	○	○	×	×
i+ (プレミアムおまかせオート)	○	○	○	×	×
P (プログラムオート)	○	×	○	○	○
A (絞り優先)	○	×	○	○	○
S (シャッタースピード優先)	○	×	○	○	○
M (マニュアル露出)	○	×	○	○	○
(動画) *	○	×	×	×	×
(スイングパノラマ) *	○	×	×	×	×
シーンセレクション		○	○	○	×
		○	×	○	×
		○	×	×	×
	*	○	×	×	×
連続ブラケット *	×	×	×	○	×

* これらの撮影モードではフラッシュ撮影はできません。

ご注意

- MR(登録呼び出し)時は、設定によって選べるフラッシュモードが変わります。

モニター表示を変える(DISP)

1 コントロールホイールのDISP → 好みのモードを選ぶ。

選択できるモードはMENU → 1 → [DISPボタン]で設定できます。

撮影時

グラフィック表示：基本的な撮影情報

報を表示する。シャッタースピードと絞りをグラフィカルに表示する。

全情報表示：撮影情報を表示する。

情報表示なし：撮影情報を表示しない。

水準器：カメラの傾きを示す指標を表示する。水平状態のときは緑色になる。

ヒストグラム：画像の明暗をグラフ(ヒストグラム)で表示する。

(お買い上げ時の設定では選べません。[DISPボタン]で[ヒストグラム]を選択してください。)

再生時

情報表示あり：撮影時の情報を表示する。

ヒストグラム：撮影時の情報とヒストグラムを表示する。

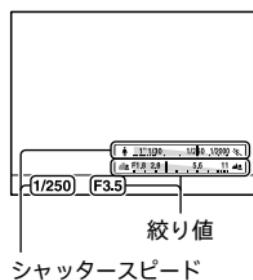
情報表示なし：撮影時の情報を表示しない。



静止画を撮る

グラフィック表示について

グラフィック表示ではシャッタースピードと絞り値をグラフィカルに表現し、露出の仕組みを分かりやすくイメージ化して表現しています。シャッタースピードインジケーター/絞りインジケーターのバーが現在の値を指しています。



画像のサイズを選ぶ

画像サイズは画像を記録するときの大きさのことです。

画像サイズが大きいほど、大きな用紙にも詳細にプリントできますが、ファイルサイズが大きくなります。画像サイズを小さくすると、ファイルサイズも小さくなりたくさん撮影できます。

**1 MENUボタン → 1 → [画像サイズ] または
[パノラマ: 画像サイズ] → 希望の設定を選ぶ。**

- 横縦の比率は、MENUボタン → 1 → [横縦比] で選びます。

画像サイズ ([横縦比] が [3:2] のとき)		用途例
L:20M	5472 × 3648画素	A3ノビサイズまでの印刷
M:10M	3888 × 2592画素	A3サイズまでの印刷
S:5.0M	2736 × 1824画素	L/2L/A4サイズまでの印刷

画像サイズ ([横縦比] が [16:9] のとき)		用途例
L:17M	5472 × 3080画素	ハイビジョンテレビでの再生
M:7.5M	3648 × 2056画素	
S:4.2M	2720 × 1528画素	

画像サイズ ([横縦比] が [4:3] のとき)		用途例
L:18M	4864 × 3648画素	パソコンでの表示
M:10M	3648 × 2736画素	
S:5.0M	2592 × 1944画素	
VGA	640 × 480画素	Eメールに添付

画像サイズ（[横縦比]が[1:1]のとき）		用途例
L:13M	3648×3648画素	中判カメラのような構図での撮影
M:6.5M	2544×2544画素	
S:3.7M	1920×1920画素	

パノラマ: 画像サイズ	説明
標準	上下: 3872×2160 左右: 8192×1856
ワイド	上下: 5536×2160 左右: 12416×1856

ご注意

- [画質] が [RAW]、[RAW+JPEG] のとき、RAW画像の画像サイズはL相当となります。
- [16:9] や [スイングパノラマ] で撮影した静止画画像は、プリント時に両端が切れることができます。

画質を選ぶ (RAW/JPEG)

1 MENUボタン → 1 → [画質] → 希望の設定を選ぶ。

[RAW] : デジタル処理などの加工をしていないファイル形式。専門的な用途に合わせて、パソコンで加工するときに選ぶ。

- パソコンでの加工にはImage Data Converterを使用ください(74ページ)。

[RAW+JPEG] : RAW画像とJPEG画像が同時に記録される。閲覧用にはJPEG画像、編集用にはRAW画像というように、両方の画像を記録したい場合に適している。

[ファイン] / [スタンダード] : 画像がJPEG形式で圧縮されて記録される。[スタンダード] は [ファイン] に比べて圧縮率が大きくなるため、1枚のメモリーカードに記録できる枚数は増えるが、画質は劣化する。

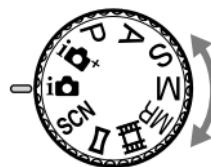
ご注意

- [RAW] または [RAW+JPEG] のとき、以下の機能は使用できません。
 - 光学ズーム以外のズーム
 - [オートHDR]
 - [ピクチャーエフェクト]
- [RAW] または [RAW+JPEG] の場合はデータ量が多いため、1枚のメモリーカードに記録できる枚数がJPEG形式より少なくなります。

静止画の撮影モードを変える(モードダイヤル)

撮りたい被写体や、操作したい機能に合わせて、モードダイヤルで撮影モードを設定します。

- 1 モードダイヤルを回して好みのモードを選ぶ。



カメラまかせで自動撮影する

露出(シャッタースピードと絞り)など、多くの機能が自動で設定されます。

i_{CL} (おまかせオート) (28)	シーンを認識し、自動設定で撮影する。
i_{CL+} (プレミアムおまかせオート) (29)	おまかせオート撮影より高画質な画像を撮影できる。カメラまかせでシーンとコンディションを認識し、必要に応じて自動で連写して重ね合わせ処理を行う。 <ul style="list-style-type: none">重ね合わせ処理には、若干の時間がかかります。記録される画像は1枚です。
SCN (シーンセレクション) (43)	撮影条件に合わせて、あらかじめ用意された設定で撮影する。

好みの設定で撮影する

Fn(ファンクション)やMENUで多彩な機能を設定できます。

P (プログラムオート) (30)	露出(シャッタースピードと絞り)は自動設定される。FnやMENUで多彩な機能を設定できる。
A (絞り優先) (44)	背景をぼかしたいときなど、絞り値を設定して撮影する。
S (シャッタースピード優先) (45)	動きの速いものを撮るときなど、シャッタースピードを設定して撮影する。
M(マニュアル露出) (46)	シャッタースピードと絞りを手動で設定して、好みの露出で撮影できる。
MR(登録呼び出し) (58)	あらかじめ登録しておいた、よく使うモードやカメラの設定を呼び出して撮影できる。

その他の撮影モードで撮影する

■ (動画) (61, 79)	動画撮影に関するモードや設定の変更ができる。
□(スイングパノラマ) (41)	画像を合成してパノラマ画像を撮影できる。

パノラマ画像を撮る

カメラを動かす間に複数の画像を撮影し、合成して1枚のパノラマ画像を作成します。

1 モードダイヤルを□(スイングパノラマ)にする。

2 コントロールリングを回して撮影方向を選ぶ。

コントロールリングに他の機能が割り当てられている場合は、MENUボタン
→ 1 → [パノラマ: 撮影方向]で選ぶ。

**3 明るさ、ピントを合わせたい被写
体にカメラを向け、シャッターボ
タンを半押しする。**



撮影されない部分

静止画を撮る

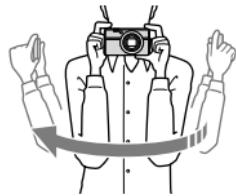
**4 シャッターボタンを半押しした状態で構図の端にカメラを向け、
シャッターボタンを深く押し込む。**

**5 モニター上の矢印方向に、ガイド
上の撮影進行表示が終端に来る
まで、カメラを動かす。**



パノラマ撮影のポイント

脇をしめてできるだけカメラを体に寄せ、体を軸に、一定の速度で小さな円を描くように、モニターの矢印と同じ方向に動かしてください。(半周5秒~6秒が目安です)。



撮影の前にあらかじめ何度か練習しておくことをおすすめします。

- 被写体と背景との距離を充分にたもったり、屋外などの明るい場所で撮ることもポイントです。

場面に合った撮影モードを使う (シーンセレクション)

1 モードダイヤルをSCN(シーンセレクション)にして希望のシーンを選ぶ。

- [モードダイヤルガイド]が[切]の場合は、シーンを選択する画面が表示されません。
 - 他のシーンにしたいときは、コントロールリングで選び直せます。コントロールリングに他の機能が割り当てられている場合は、MENUボタン→ 5 → [シーンセレクション]で選び直せます。
- (ポートレート) : 背景をぼかして、人物を際立たせる。肌をやわらかに再現する。
- (人物ブレ軽減) : 室内で人物撮影をする場合、フラッシュを使わずにブレを軽減する。
- (スポーツ) : 高速なシャッタースピードで動く物が止まったように撮れる。シャッターボタンを押し続けると連続撮影する。
- (ペット) : ペットを最適な設定で撮影する。
- (料理) : 料理を明るく美味しそうに撮影する。
- (マクロ) : 花などに近づいて撮影する。
- (風景) : 風景を手前から奥までくっきりと鮮やかな色で撮る。
- (夕景) : 夕焼けや朝焼けなどの赤を美しく撮る。
- (夜景) : 暗い雰囲気を損なわずに、夜景を撮る。
- (手持ち夜景) : 三脚を使わずにノイズが少ない夜景を撮る。連写を行い、画像を合成して被写体ブレや手ブレ、ノイズを軽減して記録する。
- (夜景ポートレート) : 夜景を背景に手前の人物を撮る。
- (打ち上げ花火) : 打ち上げ花火をきれいに撮影する。
- (高感度) : 暗いところであっても、フラッシュを使わずにブレを軽減する。

絞りとシャッタースピードを好みの設定にする

背景のぼかし具合を調節して撮る(絞り優先)

ピントの合う範囲や、背景のぼかし具合を変えて撮影できます。

1 モードダイヤルをA(絞り優先)にする。

2 コントロールホイールを回して、絞り値(F値)の設定値を選ぶ。

- F1.8からF11の範囲で選びます。
- シャッタースピードは1/2000秒から8秒の間で自動調整されます。
- コントロールリングでも設定できます(23ページ)。

3 シャッターボタンを押す。

絞りについて

F値を小さくする(絞りを開ける)と、ピントの合う範囲は前後に狭くなり、背景をぼかして、被写体をくっきりと表現できます。



F値を大きくする(絞りを閉じる)と、ピントの合う範囲は前後に広がり、風景の広がりを表現できます。



ご注意

- 設定後に適正露出が得られない場合、モニターの設定値表示が点滅します。そのまま撮影できますが、設定し直すことをおすすめします。

動くものの表現を変えて撮る(シャッタースピード優先)

シャッタースピードを手動で調節できます。

- 1 モードダイヤルをS(シャッタースピード優先)にする。
- 2 コントロールホイールを回して、シャッタースピードの設定値を選ぶ。
 - 1/2000秒から30秒の範囲で選びます。
 - コントロールリングでも設定できます(23ページ)。
- 3 シャッターボタンを押す。

シャッタースピードについて

シャッタースピードを速くすると、走っている人や車、波しぶきなどの動きのあるものが止まって見えます。



シャッタースピードを遅くすると、川の流れなどの軌跡が残り、より自然な流動感のある画像になります。



ご注意

- 設定後に適正露出が得られない場合、モニターの設定値表示が点滅します。そのまま撮影できますが、設定し直すことをおすすめします。

思い通りの露出で撮る(マニュアル露出)

シャッタースピードと絞り(F値)を調節して、好みの露出で撮影します。設定した露出は電源を切っても保持されるため、後でモードダイヤルをM(マニュアル露出)にしたときも同じ露出を再現できます。

1 モードダイヤルをM(マニュアル露出)にする。

2 コントロールホイールの▼を押して、設定する項目を選ぶ。

押すたびに設定できる項目が変わります。

3 コントロールホイールを回して、設定値を選ぶ。

- 設定した露出と本機が判断した適正露出の差がモニター上の■(メーター)で確認できます。
- コントロールリングでも設定できます(23ページ)。

4 シャッターボタンを押す。

ご注意

- マニュアル露出時は、[ISO感度]の[ISO AUTO]は選べません。
- 設定後に適正露出が得られない場合、モニターの設定値表示が点滅します。そのまま撮影できますが、設定し直すことをおすすめします。

BULB(バルブ)撮影で動きの軌跡を撮る

シャッタースピードの設定で、[BULB]と表示されるまでコントロールホイールを左に回してください。シャッターボタンを押し続けている間撮影します。

- 花火の光が尾を引くような写真や、星の軌跡の撮影に適しています。
- 画像がブレやすくなるため、三脚や、シャッターボタンのロック機能を持つリモートコマンダー(別売)のご使用をおすすめします。

ピントを合わせる

ピント合わせの方法を選ぶ

-
- 1 MENUボタン → 2 → [フォーカスモード] → 希望のモードを選ぶ。

AF-S(シングルAF)：ピントが合った時点でピントを固定する。止まっているものの撮影に適している。

AF-C(コンティニュアスAF)：シャッターボタン半押しの間はピントを合わせ続ける。動いているものの撮影に適している。

DMF(DMF)：手動によるピント合わせとオートフォーカスを組み合わせることができる。

MF(マニュアルフォーカス)：ピント合わせを手動で行う。

[DMF] または [マニュアルフォーカス] を選び手動でピントを合わせるときは、コントロールリングを回します(49ページ)。

ピントを合わせるエリアを選ぶ(オートフォーカスエリア)

ピント合わせの位置を変更します。ピントが合いにくいときなどに使用してください。

-
- 1 MENUボタン → 2 → [オートフォーカスエリア] → 希望の設定を選ぶ。

マルチ：モニター全体を基準に、自動でピント合わせする。

中央重点：モニター中央付近の被写体に自動でピント合わせする。

フレキシブルスポット：コントロールホイールで、ピントを合わせたい位置に測距枠を移動し、非常に小さな被写体や狭いエリアを狙ってピントを合わせる。位置を設定し直すときは中央の●を押す。

撮影のテクニック

- 被写体にピントが合わない場合は、ピントを合わせたい被写体に測距枠を合わせ、シャッターボタンを半押ししてピントを固定してください。その後シャッターボタンを半押ししたまま撮りたい構図に戻して撮影してください。(フォーカスロック)

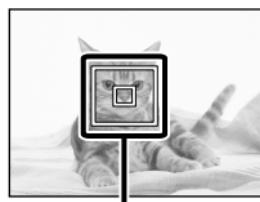
被写体にピントを合わせ続けて撮る(追尾フォーカス)

被写体が動いても、自動でピントを合わせ続けます。

1 被写体に本機を向け、コントロールホイール中央の●を押す。

2 追尾する被写体にターゲット枠を合わせ、中央の●を押す。

追尾フォーカスを解除したいときは、もう一度中央の●を押します。



ターゲット枠

優先したい顔を登録する(選択顔記憶)

顔検出中に追尾フォーカスを行うと、優先したい顔を自分で選んで登録できます。顔を追尾しているときは、被写体がモニターから消えても、登録した顔が再びモニターに映った場合には登録した顔でピント合わせをします。

- ① 顔検出中に、コントロールホイール中央の●を押す。
ターゲット枠が表示される。
- ② 検出されている顔にターゲット枠を合わせて、中央の●を押す。
選択された顔が優先顔として登録され、二重枠表示に変わる。
- ③ 登録を解除したい場合は、もう一度中央の●を押す。



ピントを手動で好みの位置に合わせる (マニュアルフォーカス)

- 1 MENUボタン → 2 → [フォーカスマード] → [DMF]または[マニュアルフォーカス]を選ぶ。
- 2 コントロールリングを回してピントを調整する。

ご注意

- [フォーカスマード]を選び直すと、手動で設定したフォーカスの距離は解除されます。

[DMF]を使ってピントを合わせる

[DMF]では以下のように、手動によるピント調整とオートフォーカスを組み合わせることができます。

- オートフォーカスでピントを合わせたあと、手動でピントを微調整すると、厳密なピント合わせをしたい被写体などに有効です。シャッターボタンを半押ししたまま、コントロールリングを回します。
- あらかじめ手動でピント調整したあと、オートフォーカスでピント調整できます。奥の被写体にピントを合わせたいとき、オートフォーカスでは手前にあるものへピントが合ってしまうような場合に有効です。

撮影のテクニック

- [MFアシスト]を使うと、[マニュアルフォーカス]や[DMF]のピントの調整時に、画像を自動で拡大表示してピントを合わせやすくします(82ページ)。拡大表示中にコントロールホイール中央の●を押すと拡大倍率を変更できます。
- [ピーリングレベル]を使うと、マニュアルフォーカス撮影のときに、ピントが合った部分の輪郭を指定した色で強調します。ピントを確認しやすくなります(80ページ)。

好みの効果を使って印象的に撮る (ピクチャーエフェクト)

1 モードダイヤルをP(プログラムオート)、A(絞り優先)、S(シャッタースピード優先)またはM(マニュアル露出)にする。

2 MENUボタン → [ピクチャーエフェクト] → 希望のモードを選ぶ。

さらに詳細な設定ができるモードを選んだ場合は、◀/▶で希望の設定を選びます。

 OFF(切) : 効果を使用しない。

 (トイカメラ) : 周辺が暗く、シャープ感を抑えた柔らかな仕上がりになる。
◀/▶で色合いを設定できる。

 (ポップカラー) : 色合いを強調してポップで生き生きとした仕上がりになる。

 (ポスタリゼーション) : 原色のみ、または白黒のみで再現されるメリハリのきいた抽象的な仕上がりになる。
◀/▶で

[ポスタリゼーション：白黒]か[ポスタリゼーション：カラー]かを選択できる。

 (レトロフォト) : 古びた写真のようにセピア色でコントラストが落ちた仕上がりになる。

 (ソフトハイキー) : 明るく、透明感や軽さ、優しさ、柔らかさを持った仕上がりになる。

 (パートカラー) : 1色のみをカラーで残し、他の色はモノクロに仕上がる。
◀/▶で残す色を設定できる。

 (ハイコントラストモノクロ) : 明暗を強調することで緊張感のあるモノクロに仕上がる。

 (ソフトフォーカス) : 柔らかな光につつまれたような雰囲気の仕上がりになる。
◀/▶で効果の強弱を設定できる。

 (絵画調HDR) : 絵画のように色彩やディテールが強調された仕上がりになる。3回シャッターが切れる。
◀/▶で効果の強弱を設定できる。

 **(リッチトーンモノクロ)** : 階調が豊かでディテールも再現されたモノクロに仕上がる。3回シャッターが切れる。

 **(ミニチュア)** : ミニチュア模型を撮影したようにボケが大きく、鮮やかな仕上がりになる。◀/▶でボケる位置を設定できる。

 **(水彩画調)** : にじみやぼかしを加えて水彩画のような効果をつける。

 **(イラスト調)** : 輪郭を強調するなどしてイラストのような効果をつける。◀/▶で効果の強弱を設定できる。

撮影のテクニック

- [トイカメラ]、[ポップカラー]、[ポスタリゼーション]、[レトロフォト]、[ソフトハイキー]、[パートカラー]、[ハイコントラストモノクロ]は動画撮影でも使えます。(デュアル記録はできません。)
-

ご注意

- ピクチャーエフェクトを設定すると[DRO/オートHDR]や[クリエイティブスタイル]等、使用できなくなる機能があります。また、ピクチャーエフェクトのモードによって使用できなくなる機能があります。
- [画質]が[RAW]または[RAW+JPEG]のとき、[ピクチャーエフェクト]を設定できません。

明るさを調整する(露出補正)

撮影モード「M」以外では、露出が自動的に設定されます(自動露出)。自動露出で設定された露出値を基準に、+側に補正すると、画像全体を明るく、-側に補正すると、画像全体を暗くできます(露出補正)。

1 コントロールホイールの

 /  (露出補正) → ◀/▶を押す、またはホイールを回して希望の補正值を選ぶ。

- + (オーバー) 側 : 画像が明るくなる。
- (アンダー) 側 : 画像が暗くなる。



ご注意

- 撮影モードが以下の場合は、露出補正できません。
 - [おまかせオート]
 - [プレミアムおまかせオート]
 - [シーンセレクション]
 - [マニュアル露出]

ISO感度を選ぶ

1 モードダイヤルをP(プログラムオート)、A(絞り優先)、S(シャッタースピード優先)、M(マニュアル露出)または
 (動画)にする。

2 MENUボタン →  3 → [ISO感度] → 希望の設定を選ぶ。

 (マルチショットノイズリダクション) : 連続撮影により写真を重ね合わせ、ノイズの少ない画像を撮影する。

▶で設定画面を表示して、▲/▼でISO AUTO、ISO 200～ISO 25600の中から希望の数値を選ぶ。

 (ISO AUTO) : カメラが明るさに応じた感度を自動で設定する。▶で設定画面を表示して、ISO AUTO時の上限値、下限値を設定することもできる。

ISO 100～ISO 12800 : 数値が大きいほど高感度になる。

ご注意

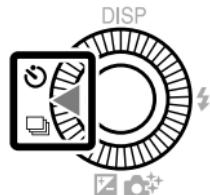
- ISO 160未満では、記録できる被写体輝度の範囲(ダイナミックレンジ)が少し狭くなります。
- 動画撮影時はISO 160～ISO 3200の範囲で選べます。
- 「マルチショットノイズリダクション」に設定しているときは、重ね合わせ処理をするため、記録処理に時間がかかります。また、フラッシュは発光しません。
- 撮影モードが「マニュアル露出」のときは、「ISO AUTO」が選べません。

連続して撮る(連写)

1枚撮影、連続撮影、ブラケット撮影など、撮影の目的に合わせて使用してください。

1 コントロールホイールの ◎ / □ (ドライブモード) → 希望 のモードを選ぶ。

- さらに詳細な設定ができるモードを選んだ場合は、◀/▶で希望の設定を選びます。
 - コントロールホイールに他の機能が割り当てられている場合は、MENUボタン → □ 2 → [ドライブモード] から選べます。
- (1枚撮影) : 通常の撮影方法。
 □ (連続撮影) : シャッターボタンを押している間、連続して撮影する。
 □ (速度優先連続撮影) : シャッターボタンを押している間、高速で連続撮影する。ピントと明るさは1枚目で固定される。
BRK C (連続ブラケット) : 露出を段階的にずらして、合計3枚の画像を連続して記録する。露出の段数は設定できる。
BRK WB (ホワイトバランスブラケット) : 選択されているホワイトバランス、色温度・カラーフィルターの値を基準に、段階的にずらして、合計3枚の画像を連続して記録する。[Lo] または [Hi] からずらす値の幅を選ぶ。



ご注意

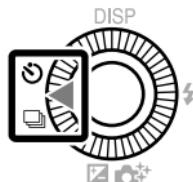
- 以下のときは、連続撮影、ブラケット撮影ができません。
 - 撮影モードが[スイングパノラマ]
 - [シーンセレクション]の[スポーツ]以外*
 - [ピクチャーエフェクト]が[ソフトフォーカス]、[絵画調HDR]、[リッチトーンモノクロ]、[ミニチュア]、[水彩画調]、[イラスト調]
 - [DRO/オートHDR]が[オートHDR]
 - [ISO感度]が[マルチショットノイズリダクション]
- * [シーンセレクション]が[スポーツ]の場合もブラケット撮影はできません(87ページ)。

セルフタイマーで撮る

1 コントロールホイールの

⌚/⌚ (ドライブモード) → 希望
のモードを選ぶ。

- さらに詳細な設定ができるモードを選んだ場合は、◀/▶で希望の設定を選びます。
- コントロールホイールに他の機能が割り当てられている場合は、MENUボタン → 📷 2 → [ドライブモード] から選べます。



⌚(セルフトタイマー) : 10秒セルフトタイマーは撮影者も一緒に写真に入るときに、2秒セルフトタイマーは、撮影の際のカメラブレを和らげるのに使う。シャッターボタンを押すと、セルフトタイマーランプが点滅して「ピッピッピッ」と電子音が鳴り、撮影が開始される。解除するにはもう一度⌚/⌚を押す。

⌚(自分撮り) : カメラが人物の顔を検出して自動撮影する。自分にカメラを向けて撮影するときに使う。設定した人数の顔を検出すると「ピピッ」と音が鳴り、2秒後に撮影される。

⌚c(セルフトタイマー(連続)) : シャッターボタンを押して10秒後に連写撮影する。3枚または5枚から撮影枚数を選ぶ。

ご注意

- 以下のときは、セルフトタイマーを使えません。
 - 撮影モードが[スイングパノラマ]
 - [シーンセレクション]の[人物ブレ軽減]、[手持ち夜景]
 - [ピクチャーエフェクト]が[ソフトフォーカス]、[絵画調HDR]、[リッチトーンモノクロ]、[ミニチュア]、[水彩画調]、[イラスト調]
 - [DRO/オートHDR]が[オートHDR]
 - [ISO感度]が[マルチショットノイズリダクション]

かんたんな操作で好みの設定にして撮る(マイフォトスタイル)

マイフォトスタイルは、通常の画面とは異なるデザインで直感的にカメラを操作できるモードです。かんたんな操作で設定を変更して撮影できます。

1 モードダイヤルを*i* (おまかせオート) または *i* + (プレミアムおまかせオート) にする。

**2 コントロールホイールの
■ / ■ (マイフォトスタイル)
→ 変更する項目を選ぶ。**

■ (背景ぼかし) : 背景のぼかし具合を調整する。

■ (明るさ) : 明るさを調整する。

■ (色あい) : 色合いを調整する。

■ (鮮やかさ) : 鮮やかさを調整する。

☑ (ピクチャーエフェクト) : 好みの効果を選んで、独自の風合いで撮影する。



静止画を撮る

3 コントロールホイールの▲/▼を押す、またはホイールを回して希望の設定にする。

- この手順を繰り返して色々な設定を組み合わせることができます。
- マイフォトスタイルを終了するには、MENUボタンを押します。

ご注意

- マイフォトスタイルで動画を撮影する場合、撮影中に設定できるのは背景ぼかしのみです。
- マイフォトスタイルを終了したり、電源を切ると、各設定は初期設定に戻ります。
- プレミアムおまかせオート時に、マイフォトスタイルを設定すると、重ね合わせ処理はされません。

撮影機能を自分好みにカスタマイズする

登録した設定を呼び出して撮影する(MR)

よく使うモードやカメラの設定を3つまで本機に登録でき、MR(登録呼び出し)で呼び出せます。

設定を登録する

- ① 登録したい設定にする。
 - 以下の項目を登録できます。
モードダイヤルで設定する撮影モード/絞り(F値)/シャッタースピード/
露出補正/ (静止画撮影メニュー)項目/ (動画撮影メニュー)項目/光学ズーム倍率
 - プログラムシフト、マニュアルフォーカスの設定は登録できません。
- ② MENU →  5 → [登録] → コントロールホイールの◀/▶で好みの番号を選ぶ → 中央の●で決定。

登録した設定を呼び出す

モードダイヤルをMR(登録呼び出し)にして希望の番号を選ぶ。

- 他の番号にしたいときはMENUボタン →  5 → [登録呼び出し]で選び直せます。
- 登録した内容を変更するには、希望する設定にして同じ番号に再登録してください。

Fn(ファンクション)ボタンの設定機能を変える

-
- 1 MENUボタン →  2 → [ファンクションボタン] → [ファンクション1] ~ [ファンクション7] → 好みのモードを選ぶ。

JP 露出補正/フォーカスマード/オートフォーカスエリア/ISO感度/

ドライブモード/測光モード/フラッシュモード/調光補正/
 ホワイトバランス/ DRO/オートHDR /クリエイティブスタイル/
 ピクチャーエフェクト/美肌効果/画質/画像サイズ/
 顔検出/スマイルシャッター /横縦比：選択した機能が割り当てられる。
 未設定：機能を割り当てない。

コントロールリングの設定機能を変える

コントロールリングにはよく使う機能を登録しておくことができ、撮影時に即時に設定ができます。

1 MENUボタン → ⚡ 2 → [コントロールリング] → 希望の設定を選ぶ。

スタンダード：撮影モードごとにカメラがおすすめする機能が割り当てられる。

露出補正/ISO感度/ホワイトバランス/クリエイティブスタイル/
 ピクチャーエフェクト/ズーム/シャッタースピード/絞り：選択した機能が
 割り当てられる。

未設定：機能を割り当てない。

撮影モード	[スタンダード] 時に割り当てられる機能
i [■] (おまかせオート)	ズーム
i [■] + (プレミアムおまかせオート)	ズーム
P (プログラムオート)	プログラムシフト
A (絞り優先)	絞り
S (シャッタースピード優先)	シャッタースピード
M (マニュアル露出)	絞り
■ (スイングパノラマ)	撮影方向
SCN (シーンセレクション)	シーンセレクション

ご注意

- [フォーカスモード]が[DMF]または[マニュアルフォーカス]のときは割り当てられた機能を呼び出すことはできません。コントロールリングは手動ピント合わせとして機能します。

動画を撮る

1 MOVIE(動画)ボタンを押して、撮影を開始する。

- W/T(ズーム)レバーをT側へ動かすとズームし、W側へ動かすと戻ります。
- シャッタースピードや絞りを希望の値に設定したいときは、モードダイヤルを  (動画)にしてください(63ページ)。



2 もう一度MOVIEボタンを押して、終了する。

ご注意

- 動画記録中にズームなどの操作をすると、カメラの動作音や操作音が記録されます。また、動画撮影終了時、MOVIEボタンの操作音が記録されることがあります。
- 連続撮影可能時間は出荷時設定を使い約25°Cで撮影した場合、1回につき約29分です。撮影が終わってしまったら、もう一度MOVIEボタンを押すと撮影を再開できます。撮影環境温度によっては、機器保護のため停止する場合があります(4ページ)。

MOVIEボタンについて

モードダイヤルがどこに設定されていても、MOVIEボタンを押せば動画撮影が可能です。

動画の記録方式/画質を選ぶ

1 MENUボタン → 1 → [記録方式] → 希望の設定を選ぶ。

- [AVCHD]：滑らかな映像をハイビジョンテレビで見るのに適した記録方式になる。「PlayMemories Home」を使って動画ディスクを作成できる。
- [MP4]：WEBアップロードやメールに適した記録方式になる。
「PlayMemories Home」を使っても動画ディスクを作成できない。

2 MENUボタン → 1 → [記録設定] → 希望の設定を選ぶ。

- 各記録設定時の最大記録時間の目安は93ページのご覧ください。

[記録方式] が [AVCHD] のとき

記録設定	平均ビットレート	説明
60i 24M(FX)	24 Mbps	1920×1080(60i)の高画質で撮影する。
60i 17M(FH)	17 Mbps	1920×1080(60i)の標準画質で撮影する。
60p 28M(PS)	28 Mbps	1920×1080(60p)の最高画質で撮影する。 • 撮影した動画を扱うには対応機器が必要です。
24p 24M(FX)	24 Mbps	1920×1080(24p)の高画質で撮影する。映画のような雰囲気で記録できる。
24p 17M(FH)	17 Mbps	1920×1080(24p)の標準画質で撮影する。映画のような雰囲気で記録できる。

[記録方式] が [MP4] のとき

記録設定	平均ビットレート	説明
1440×1080 12M	12 Mbps	1440×1080で撮影する。
VGA 3M	3 Mbps	VGAサイズで撮影する。

ご注意

- [記録設定] を [60p 28M(PS)] または [60i 24M(FX)]、[24p 24M(FX)] にして撮影した動画からAVCHD記録ディスクを作成すると、画質が変換されるため、ディスク作成に時間がかかります。画質を変換せずに保存したい場合は、ブルーレイディスクをお使いください。

絞りとシャッタースピードを設定して動画を撮る

絞りやシャッタースピードを設定して、背景のぼかし具合や流動感を思い通りにコントロールした動画を撮影できます。

1 モードダイヤルを (動画) にして希望のモードを選ぶ。

- [モードダイヤルガイド] が [切] の場合は、モードを選択する画面が表示されません。
- 他のモードにしたいときは、MENUボタン →  1 → [動画] で選び直します。
 - P (プログラムオート) (30)** : 露出(シャッタースピードと絞り)は本機が自動設定するが、その他の設定は自分で調整でき、設定した値は保持される。
 - A (絞り優先) (44)** : 絞りを手動設定する。
 - s (シャッタースピード優先) (45)** : シャッタースピードを手動設定する。
 - M (マニュアル露出) (46)** : 露出(シャッタースピードと絞り)を手動設定する。

2 MOVIE(動画)ボタンを押して撮影する。

動画を撮りながら静止画を撮る(デュアル記録)

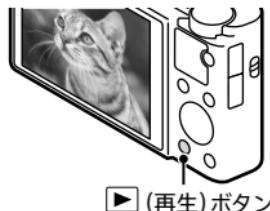
動画撮影中にシャッターボタンを押すと、動画撮影を中断することなく静止画も撮影できます。

ご注意

- ・[記録設定]が[60p 28M(PS)]の場合は、デュアル記録はできません。
- ・シャッターボタンの操作音が記録されることがあります。
- ・静止画の画像サイズは MENU →  1 → [画像サイズ(デュアル記録)]で選べます。
- ・デュアル記録時のフラッシュ撮影はできません。

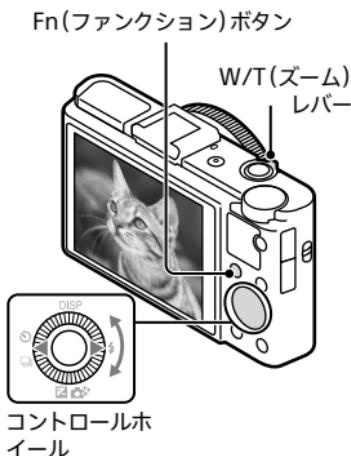
静止画を見る

1 ▶ (再生) ボタンを押す。



2 コントロールホイールの▶(次) /◀(前)を押す、またはホイールを回して画像を選ぶ。

- 拡大するには、W/T(ズーム)レバーをT側に動かしてください。最初は大きく拡大されますのでW側に動かして倍率を調整してください。
- 回転するにはFnボタンを押してください。



見る

撮影に戻るには

- ▶ (再生) ボタンを押す。
- シャッター ボタンを半押ししても撮影に戻ります。

動画を見る

1 ▶(再生)ボタンを押して再生モードにする。

2 MENUボタン → ▶ 1 → [静止画/動画 切換] →
[フォルダービュー(MP4)]または[AVCHDビュー]を選ぶ。

▶ MP4 (フォルダービュー(MP4)) : MP4形式の動画を表示する。

▶ AVCHD (AVCHDビュー) : AVCHD形式の動画を表示する。

静止画再生に戻すには、[フォルダービュー(静止画)]を選びます。

3 コントロールホイールで再生したい動画を選び、中央の●を押す。

動画の再生が始まる。

- もう一度中央の●を押すと、一時停止します。再生中に◀/▶を押すと早戻し、早送りができます。
- 再生した動画が終わると自動的に次の動画が始まります。

コントロールホイール操作	動画再生中にできること
●	一時停止/再生
▶	早送り
◀	早戻し
一時停止中にコントロールホイールを右に回す	正方向スロー再生
一時停止中にコントロールホイールを左に回す ・ コマ送りになる。	逆方向スロー再生
▼→▲/▼	音量
▲	情報表示

素早く探す(一覧表示)

1 ▶(再生)ボタンを押して再生モードにし、W/T(ズーム)レバーをW側に動かす。

W/T(ズーム)レバーをもう一度W側に動かすと、更に細かい一覧表示画面になります。



2 コントロールホイールの▲/▼/◀/▶を押す、またはホイールを回して画像を選ぶ。

コントロールホイール中央の●を押すと、1枚再生に戻ります。

希望のフォルダーを表示するには

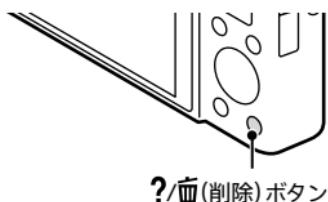
コントロールホイールで左側のバーを選び、▲/▼で希望のフォルダーを選びます。また、左側のバーを選んでコントロールホイール中央の●を押すと、静止画・動画の再生を切り換えることができます(66ページ)。



見る

削除する

-
- 1 ▶(再生)ボタンを押して削除したい画像を選び、?/廃(削除)ボタンを押す。



- 2 コントロールホイールの▲で[削除]を選び、中央の●を押す。

- MENUボタン → ▶ 1 → [削除] で、複数の画像を一度に削除することもできます(82ページ)。
-

すべての画像を削除する(フォーマット)

メモリーカードのデータをすべて削除します。フォーマットするとプロテクトしてある画像も含めて、すべてのデータが消去され、元に戻せません。

MENUボタン → ▶ 1 → [フォーマット] → [実行] を選ぶ。

その他の再生機能を使う

本機はこの他にも多くの再生機能を搭載しています。テレビでの再生方法、撮った画像のプリント方法、連続再生(スライドショー)などの詳細は、サイバーショットユーザーガイドで確認できます。

- サイバーショットユーザーガイド(11ページ)
http://www.sony.jp/support/manual_dsc.html

電子音の設定を変える

本機を操作したときの電子音の有り無しを設定します。

1 MENUボタン → 2 → [電子音] → 希望の設定を選ぶ。

入：シャッター ボタンを半押ししてピントがあつたとき、シャッター ボタンを押して撮影したときなどに、操作音/シャッター 音が鳴る。

切：操作音/シャッター 音は鳴らない。

静止画に撮影日付を入れる

撮影した日付を静止画に挿入するように設定できます。

1 MENUボタン → 5 → [日付書き込み] → 希望の設定を選ぶ。

入：日付を挿入する。

切：日付を挿入しない。

ご注意

- 静止画に入れた日付表示は消せません。
- 印刷時に日付を入れる設定にすると、二重で日付が印刷されます。
- [画質] が [RAW] または [RAW+JPEG] のときは日付は挿入されません。

「PlayMemories Home」を使う

撮影した静止画、動画を、パソコンに取り込んで閲覧や活用ができます。AVCHD動画を取り込む場合は「PlayMemories Home」が必要です。

「PlayMemories Home」でできること



カメラの画像を
PCに取り込み



画像を整理する



カレンダーで表示



動画ディスクを作成

画像をシェアする



ネットワークサービス
にアップロード



Playmemories online
で画像をシェア

「PlayMemories Home」をインストールする(Windows)

「PlayMemories Home」は、以下のURLよりインストールできます
(71ページ)。

www.sony.net/pm

ご注意

- ・「PlayMemories Home」のインストールにはインターネット接続が必要です。
- ・「Playmemories online」、各ネットワークサービスの利用にはインターネット接続が必要です。
- ・「PlayMemories Home」はMacに対応していません。Mac用アプリケーションをご利用ください。詳しくは以下のURLをご覧ください。
<http://www.sony.co.jp/imsoft/Mac/>
- ・2011年以前の機種に付属のソフトウェア「PMB」(Picture Motion Browser)がインストールされている場合、「PlayMemories Home」が上書きインストールされます。「PMB」とは一部機能が異なりますが、「PlayMemories Home」をご使用ください。

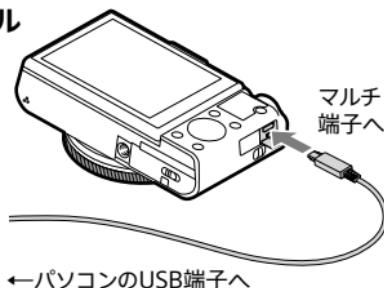
「PlayMemories Home」をインストールする

-
- 1 パソコンのインターネットブラウザで以下のダウンロードサイトにアクセスして、[インストール] → [実行] をクリックする。

www.sony.net/pm

-
- 2 画面の指示に従ってインストールを進める。

- カメラをパソコンに接続する指示が表示されたら、電源を入れてマイクロUSBケーブル(付属)で接続してください。



「PlayMemories Home ヘルプガイド」を見る

「PlayMemories Home」の操作について詳しくは、「PlayMemories Home ヘルプガイド」をご覧ください。

1 デスクトップ上の[PlayMemories Home ヘルプガイド]アイコンをダブルクリックする。

- スタートメニューから起動するときは、[スタート] → [すべてのプログラム] → [PlayMemories Home] → [PlayMemories Home ヘルプガイド]の順にクリックします。
- Windows 8の場合は、スタート画面から「PlayMemories Home」アイコンを選択して「PlayMemories Home」を起動し、[ヘルプ]メニューから [PlayMemories Home ヘルプガイド]を選択します。
- 「サイバーショットユーザーガイド」(11ページ)、
PlayMemories Homeサポートページ(<http://www.sony.co.jp/pmh-sj/>)でも詳しい操作方法をご確認いただけます。

画像をパソコンに取り込む

1 本機の電源を入れ、パソコンにマイクロUSBケーブル(付属)で接続する。

画像の取り込み画面が表示される。

- 通信中は本機のモニターに が表示されます。その間はパソコンの操作をしないでください。 が表示されたら操作できます。

2 保存先のドライブとフォルダ、取り込み方法を選んで、[取り込み開始]をクリックする。

画像の取り込みが完了すると、「PlayMemories Home」のメイン画面が表示される。



ご注意

- カメラの動作中やアクセス中の画面が表示されている場合、カメラ本体からマイクロUSBケーブル(付属)をはずさないでください。データが壊れることがあります。
- パソコンとの接続を切断するには、タスクトレイの切断アイコン()をクリックし、[USB大容量記憶装置を安全に取り外します]をクリックしてください。
- Windows XPでパソコンにインストールされている
Windows Media PlayerがVer.10の場合は、カメラをパソコンに接続しても認識されない場合があります。このような場合はケーブルを抜いて、MENU → 2 → [USB接続] → [マスストレージ]にしてから、接続し直してください。

「Image Data Converter」を使う

RAW画像を補正してJPEG/TIFFに変換できます。

「Image Data Converter」でできること

次のことなどができます。

- RAW画像を再生し、トーンカーブやシャープネスなど多彩な補正機能で編集
- ホワイトバランスや露出、クリエイティブスタイルなどの静止画の調整
- 表示、編集した静止画をパソコンに保存
RAWデータのまま保存する方法と、汎用ファイルフォーマット形式 (JPEG/TIFF) で保存する方法があります。
- 本機で撮影したRAW画像/JPEG画像の表示、比較
- 5段階でランク付け
- カラーラベルの設定

「Image Data Converter」をインストールする

1 パソコンのインターネットブラウザで以下のURLにアクセスする。

Windows/Mac :

<http://www.sony.co.jp/ids-sj/>

2 画面の指示に従って「Image Data Converter」をダウンロードしてインストールする。

ご注意

- 「Image Data Converter」のインストールにはインターネット接続が必要です。

「Image Data Converterガイド」を見る

「Image Data Converter」の操作について詳しくは、「Image Data Converterガイド」をご覧ください。

Windows :

-
- 1 [スタート] → [すべてのプログラム] →
[Image Data Converter] → [ヘルプ] →
[Image Data Converter Ver.4]

Windows 8の場合は、[Image Data Converter Ver.4]を起動して、メニューバーの[ヘルプ] → [Image Data Converterガイド]を選ぶ。

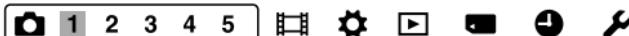
Mac :

-
- 1 Finderを起動して [アプリケーション] →
[Image Data Converter] →
[Image Data Converter Ver.4] → メニューバーの
[ヘルプ] → [Image Data Converterガイド] を選ぶ。

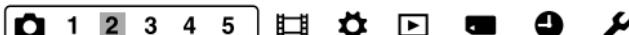
-
- 「Image Data Converter」のサポートページ(<http://www.sony.co.jp/ids-sj/>)でも詳しい操作方法をご確認頂けます。

MENUボタンで選ぶ機能一覧

静止画撮影メニュー

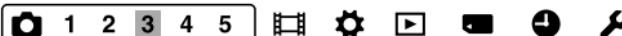


画像サイズ	静止画のサイズを選択する。 (L:20M/M:10M/S:5.0M(3:2のとき) L:17M/M:7.5M/S:4.2M(16:9のとき) L:18M/M:10M/S:5.0M/VGA(4:3のとき) L:13M/M:6.5M/S:3.7M(1:1のとき))
横縦比	静止画の横縦比を選択する。 (3:2/16:9/4:3/1:1)
画質	静止画の画質を設定する。 (RAW/Raw+JPEG/ファイン/スタンダード)
パノラマ: 画像サイズ	パノラマ画像のサイズを選択する。 (標準/ワイド)
パノラマ: 撮影方向	パノラマの撮影方向を設定する。 (右/左/上/下)
スマートフォン操作	スマートフォンでカメラを遠隔操作して、静止画・動画を撮影したり、撮影した静止画をスマートフォンに保存する。



ライブモード	連続撮影などの撮影方法を設定する。 (1枚撮影/連続撮影/速度優先連続撮影/ セルフタイマー/自分撮り/ セルフタイマー(連続)/連続ブラケット/ ホワイトバランスブラケット)
フラッシュモード	フラッシュの発光方式を設定する。 (発光禁止/自動発光/強制発光/スローシンクロ/ 後幕シンクロ)
フォーカスマード	被写体の動きに応じたピント合わせの方法を選ぶ。 (シングルAF/コンティニュアスAF/DMF/ マニュアルフォーカス)

オートフォーカスエリア	ピント合わせの位置を選ぶ。 (マルチ/中央重点/フレキシブルスポット)
美肌効果	顔検出時、被写体の美肌効果を設定する。 (切/入)
顔検出/スマイルシャッター	人物の顔を自動でとらえ、ピントや露出を最適にする。笑顔を検出すると自動で撮影する。 (切/入(登録顔優先) /入/スマイルシャッター)
オートフレーミング	人物の顔やマクロ撮影する被写体、または [追尾フォーカス]でとらえた被写体を検出して、撮影するときにシーンを分析して、印象の異なる構図で画像を保存する。(切/オート)



ISO感度	ISO感度を設定する。 (マルチショットノイズリダクション/ISO AUTO/ ISO 100 ~ ISO 12800)
測光モード	明るさを測る方法を選ぶ。 (マルチ/中央重点/スポット)
調光補正	フラッシュの発光量を調整する。 (-2.0EV ~+2.0EV)
ホワイトバランス	撮影場所の光の状況に合わせて画像の色合いを調整する。 (オートホワイトバランス/太陽光/日陰/曇天/ 電球/蛍光灯:温白色/蛍光灯:白色/ 蛍光灯:昼白色/ 蛍光灯:昼色/フラッシュ/ 色温度・カラーフィルター/カスタム/ カスタムセット)
DRO/オートHDR	明るさ、コントラストを自動補正する。 (切/Dレンジオプティマイザー/オートHDR)
クリエイティブスタイル	お好みの画像の仕上がりを選ぶ。 コントラスト、彩度、シャープネスの調整もできる。 (スタンダード/ビビッド/ポートレート/風景/ 夕景/白黒)

ピクチャーエフェクト	好みの効果を使って、より印象的でアーティスティックな表現の画像を撮影できる。 (切/トイカメラ/ポップカラー/ ポスタリゼーション/レトロフォト/ ソフトハイキー/パートカラー/ ハイコントラストモノクロ/ソフトフォーカス/ 絵画調HDR/リッチトーンモノクロ/ミニチュア/ 水彩画調/イラスト調)
-------------------	---



全画素超解像ズーム	デジタルズームよりも高画質でズームする。 (入/切)
デジタルズーム	全画素超解像ズーム以上の倍率でズームできる。 (入/切)
長秒時ノイズリダクション	シャッタースピードを1/3秒以上にした場合のノイズ軽減処理を設定する。 (入/切)
高感度ノイズリダクション	高感度撮影した場合のノイズ軽減処理を設定する。 (強/標準/弱)
AF補助光	暗所でピントを合わせるための補助光を発光する。 (オート/切)
手ブレ補正	手ブレ補正の設定をする。 (入/切)
色空間	再現できる色の範囲を変更する。 (sRGB/AdobeRGB)



撮影アドバイス一覧	撮影アドバイスの一覧を表示する。
日付書き込み	撮影した日の日付を画像に記録するかどうかを設定する。 (入/切)

シーンセレクション	撮影状況に合わせて、あらかじめ用意された設定で撮影する。 (ポートレート/人物ブレ軽減/スポーツ/ペット/料理/マクロ/風景/夕景/夜景/手持ち夜景/夜景ポートレート/打ち上げ花火/高感度)
登録呼び出し	モードダイヤルが MR(登録呼び出し)のとき、呼び出したい設定を選択する。 (1/2/3)
登録	好みのモード、カメラの設定を登録する。

動画撮影メニュー



記録方式	動画を記録するときの記録方式を設定する。 (AVCHD/MP4)
記録設定	動画のサイズを選択する。 (60i 24M(FX)/60i 17M(FH)/60p 28M(PS)/24p 24M(FX)/24p 17M(FH)/1440×1080 12M/VGA 3M)
画像サイズ(デュアル記録)	動画記録中に撮影する静止画の画像サイズを設定する。 (L:17M/S:4.2M(16:9のとき) L:13M/S: 3.2M(4:3のとき))
手ブレ補正	手ブレ補正の設定をする。 (アクティブ/スタンダード/切)
音声記録	動画撮影時、音声記録を行うかどうかを設定する。 (入/切)
風音低減	動画撮影時、風音を低減する。 (入/切)
動画	撮りたい被写体や効果に合わせて、露出モードを選んで撮影する。 (プログラムオート/絞り優先/シャッタースピード優先/マニュアル露出)

カスタムメニュー



FINDER/LCD 切換設定	電子ビューファインダー(別売)使用時、電子ビューファインダーとモニターの切り替え方法を設定する。(オート/マニュアル)
赤目軽減発光	フラッシュ撮影時、目が赤くなるのを軽減する。(入/切)
グリッドライン	構図を合わせるための線を表示する。(3分割/方眼/対角+方眼/切)
オートレビュー	撮影したあと、撮った画像を表示するオートレビューの設定をする。(10秒/5秒/2秒/切)
DISPボタン	コントロールホイールのDISPを押してモニターに表示する情報の種別を設定する。(グラフィック表示/全情報表示/情報表示なし/水準器/ヒストグラム)
ピーキングレベル	マニュアルフォーカス撮影のときに、ピントが合った部分の輪郭を指定された色で強調表示する設定をする。(高/中/低/切)
ピーキング色	輪郭を強調表示するピーキング表示の色を設定する。(レッド/イエロー/ホワイト)



コントロールリング	コントロールリングにお好みの機能を割り当てる。(スタンダード/露出補正/ISO感度/ホワイトバランス/クリエイティブスタイル/ピクチャーエフェクト/ズーム/シャッタースピード/絞り/未設定)
リングのズーム機能	コントロールリングでのズーム機能を設定する。[ステップ]を選ぶと、一定の画角で段階的に切り換わる。(スタンダード/ステップ)

コントロールリング表示	コントロールリング操作時にアニメーション表示するかどうかを設定する。 (入/切)
ファンクションボタン	Fn(ファンクション)ボタンで表示する機能をカスタマイズする。 (露出補正/フォーカスモード/オートフォーカスエリア/ISO感度/ドライブモード/測光モード/フラッシュモード/調光補正/ホワイトバランス/ DRO/オートHDR /クリエイティブスタイル/ピクチャーエフェクト/美肌効果/画質/画像サイズ/顔検出/スマイルシャッター /横縦比/未設定)
中央ボタンの機能	中央ボタンにお好みの機能を割り当てる。 (スタンダード/再押しAEL/再押しAF/MFコントロール /ピント拡大)
左ボタンの機能	左ボタンにお好みの機能を割り当てる。 (露出補正/ドライブモード/フラッシュモード/フォーカスモード/ オートフォーカスエリア/顔検出/スマイルシャッター /オートフレーミング/美肌効果/ISO感度/測光モード/調光補正/ホワイトバランス/ DRO/オートHDR /クリエイティブスタイル/ピクチャーエフェクト/画像サイズ/横縦比/画質/登録/再押しAEL/再押しAF/MFコントロール /ピント拡大/スマートフォン操作)
右ボタンの機能	右ボタンにお好みの機能を割り当てる。 (露出補正/ドライブモード/フラッシュモード/フォーカスモード/ オートフォーカスエリア/顔検出/スマイルシャッター/オートフレーミング/美肌効果/ISO感度/測光モード/調光補正/ホワイトバランス/ DRO/オートHDR /クリエイティブスタイル/ピクチャーエフェクト/画像サイズ/横縦比/画質/登録/再押しAEL/再押しAF/MFコントロール /ピント拡大/スマートフォン操作)

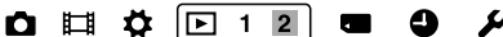


MOVIE(動画)ボタン	MOVIEボタンが有効になるモードを設定する。 (常に有効/動画モードのみ有効)
MFアシスト	手動ピント合わせ時に画像を拡大表示する。 (入/切)
ピント拡大時間	拡大表示する時間を設定する。 (2秒/5秒/無制限)
顔優先追尾	被写体追尾時に人の顔を優先して追尾するかどうかを設定する。 (入/切)
個人顔登録	優先してピントを合わせる人物の登録・編集を行う。 (新規登録/優先順序変更/削除/全て削除)

再生メニュー



スマートフォン転送	スマートフォンに画像を表示、転送する。 (カメラから選ぶ/スマートフォンから選ぶ)
パソコン保存	本機の画像をネットワークにつながれたパソコンに転送し、バックアップをとる。
テレビ鑑賞	ネットワークにつながれたテレビで画像を見る。
静止画/動画 切換	静止画と動画の表示を切り換える。 (フォルダービュー(静止画) / フォルダービュー(MP4) /AVCHDビュ)
削除	画像を削除する。 (画像選択/フォルダー内全て/ AVCHDビュー動画全て)
スライドショー	画像を連続再生する。 (リピート/間隔設定/画像種別)



一覧表示	画像を一覧表示する。 (4枚/9枚)
プロテクト	画像を誤って消さないように保護(プロテクト)する。 (画像選択/静止画全て解除/動画(MP4)全て解除/AVCHDビューエディタ動画全て解除)
プリント指定	メモリーカードの画像にプリント予約マークを付ける。 (DPOF指定/日付プリント)
ピクチャーエフェクト	画像に効果をつけ、別ファイルで保存する。 (水彩画調/イラスト調)
音量設定	動画再生時の音量を設定する。
縦記録画像の再生	縦記録画像の再生方法を設定する。 (縦向き/横向き)

メモリーカードツールメニュー



フォーマット	メモリーカードをフォーマット(初期化)する。
ファイル番号	ファイル番号の付けかたを設定する。 (連番/リセット)
記録フォルダー選択	画像を記録するフォルダーを設定する。
フォルダー新規作成	静止画と動画(MP4)を記録する新しいフォルダーを作成する。
管理ファイル修復	画像の管理ファイル修復を行い、記録・再生できるようにする。
メモリーカード残量表示	現在撮影可能な動画の時間と静止画の枚数を表示する。

機能を
一覧で
確認する

時計設定メニュー



日時設定	時計、日付の設定をする。
エリア設定	本機を使用する場所に適した時刻に設定する。

セットアップメニュー



メニュー呼び出し先	メニューの呼び出し先を変更する。リストの先頭、または最後に選んだ項目を呼び出すことができる。(先頭/前回位置)
モードダイヤルガイド	モードダイヤルガイド(各撮影モードの説明)の表示を設定する。(入/切)
モニター明るさ	モニターの明るさを設定する。(オート/マニュアル/屋外晴天)
ファインダー明るさ	電子ビューファインダー(別売)使用時、電子ビューファインダーの明るさを設定する。(オート/マニュアル)
パワーセーブ	パワーセーブモードにする時間を設定する。(強/標準)
パワーセーブ開始時間	自動的に電源が切れる時間を設定する。(30分/5分/2分/1分)



アップロード設定*	市販のEye-Fiカードを使うときのアップロード通信設定をする。(入/切)
HDMI解像度	HDMI端子からテレビに出力する解像度を選ぶ。(オート/1080p/1080i)

HDMI機器制御	プラビアリンク対応のテレビと接続した場合、テレビのリモコンで操作するかどうか設定する。 (入/切)
USB接続	接続するパソコンやUSB機器に合わせて設定する。 (オート/マストレージ/MTP)
USB LUN設定	USB接続の機能を制限して互換性を高める。通常は[マルチ]のまま使い、どうしても接続できない場合のみ、[シングル]に設定する。 (マルチ/シングル)
USB給電	USB接続して給電するかどうか設定する。 (入/切)
電子音	本機の操作時に鳴る音を設定する。 (入/切)

* Eye-Fiカード(別売)挿入時のみに表示されます。



アクセスポイント簡単登録	WPSボタンを押すことで、簡単にアクセスポイントを登録できる。
アクセスポイント手動登録	手動でアクセスポイントを登録できる。
機器名称変更	Wi-Fi Directなどの機器名称を変更する。
MACアドレス表示	本機のMACアドレスを表示する。
SSID・PWリセット	スマートフォン接続の接続情報をリセットする。



飛行機モード	飛行機などに搭乗するとき、Wi-Fi機能を使用する設定を一時的にすべて無効にする。 (入/切)
バージョン表示	本機のソフトウェアのバージョンを表示する。
認証マーク表示	本機が対応している認証情報を表示する(表示されるのは認証情報の一部のみになります)。
落下検出	落下検出の機能を設定する。 (入/切)
デモモード	動画のデモンストレーションの入/切を設定する。 (入/切)

設定リセット	設定を初期値に戻す。すべての設定を初期値に戻す場合は、[設定値リセット]を選ぶ。 (設定値リセット/撮影モードリセット/ カスタム設定リセット/ネットワーク設定リセット)
--------	---

撮影モードごとの設定できない機能

選んでいる撮影モードや設定によって、設定できない機能があります。
○は選択可能、×は選択不可能を表しています。

撮影モード/ その他設定	露出補 正 (53)	セルフタ イマー (56)	連続撮 影 (55)	ブラ ケット (55)	ISO (54)	オート HDR (77)
i ¹ / i ² (29)	×	○	○	×	×	×
SCN (43)		×	○	○	×	×
	      ISO	×	○	×	×	×
	 	×	×	×	×	×
□ (41)	○	×	×	×	×	×
P (30)	○	○	○	○	○	○
A (44)	○	○	○	○	○	○
S (45)	○	○	○	○	○	○
M (46)	×	○	○	○	○	○
 (61、79)	○	×	×	×	○	×
オートHDR	○	×	×	×	○	○
RAW/RAW+JPEG	○	○	○	○	○	×

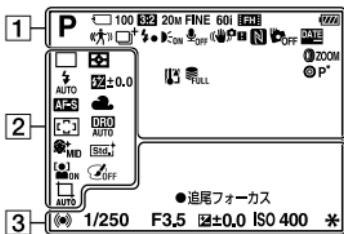
さらに詳しい一覧を、「サイバーショットユーザーガイド」でご覧頂けます(11ページ)。

ご注意

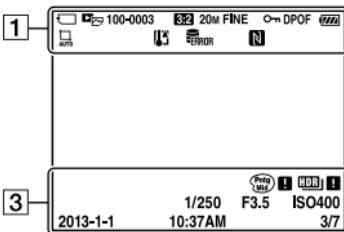
- となっている機能でも、選択できない設定値がある場合があります。
- その他の条件によっても制限される場合があります。

モニターに表示されるアイコン一覧

撮影時のアイコン一覧



再生時のアイコン一覧



表示	意味
P P* A S M	撮影モード (39)
P A S M	
1 2 3	登録呼び出し (58)
OFF : 	メモリーカード / アップロード (84)
100	撮影可能枚数 (92)
3:2 16:9 4:3 1:1	静止画の画像横縦比 (76)
20M/ 18M/ 17M/ 13M/ 10M/ 7.5M/ 6.5M/ 5.0M/ 4.2M/ 3.7M/ 3.2M/VGA WIDE STD	静止画の画像サイズ (76)

表示	意味
RAW RAW+J FINE STD	静止画の画質 (76)
60p 60i 24p	動画のフレームレート (62)
:FX: :FH: :PS: 1080: :VGA:	動画の記録設定 (62)
	バッテリー容量 (17)
	バッテリー残量警告 (17)
	シーン認識マーク (29)
	シーンセレクション (43)
	重ね合わせ設定表示

表示	意味
	フラッシュ充電表示 (33)
	AF補助光(78)
	動画音声記録オフ (79)
	風音低減(79)
	手ブレ補正 (78, 79)
	手ブレ警告
	NFC有効
	飛行機モード
	落下検出OFF(85)
	日付書き込み (69)
	コントロールリングの 機能(23)
	コントロールホイール の機能(23)
	温度上昇警告
	管理ファイルフル警 告/管理ファイルエ ラー警告
	全画素超解像ズーム (31)
	デジタルズーム (78)
	データ書き込み中
キャプチャー	静止画取り込み中
	静止画撮影不可
	スポット測光サーク ル(77)

表示	意味
C:32:00	自己診断表示
{ }[]	水準器(35)
MP4	ビューモード(66)
AVCHD	
100-0003	フォルダー番号—ファイル番号
AVCHD MP4	動画の記録方式(62)
●	プロジェクト(83)
DPOF	DPOF(プリント)指定(83)
AUTO	オートフレーミング画像(77)

2

表示	意味
     	ドライブモード (76)
 	
	測光モード (77)
       	フラッシュモード (33) / 赤目軽減発光 (80)
    	
 	調光補正 (77)

表示	意味
AWB -1 0 +1 +2 WB	ホワイトバランス (77)
7500K A5 G5	
	フォーカスエリア (47)
D-R OFF DRO AUTO HDR AUTO	DRO/オートHDR (77)
HI MID LO OFF	美肌効果(77)
Std. Vivid Port. Land. Sunset B/W	クリエイティブスタイル(77)
OFF ON ON	顔検出/スマイル シャッター(77)
Toy Blurred Pop Retro Part. I Part. II Part. Y HC BW Soft Mid Pngt. Mid Rich BW Mini AUTO OFF Wrc Blus Mid	ピクチャーエフェクト (51)
AUTO OFF	オートフレーミング (77)
[Smile icon]	スマイル検出感度イ ンジケーター(77)

3

使用できるメモリーカード

以下の一覧を参考にして、使用するメモリーカードを選んでください。
静止画撮影、または動画撮影で使用できるメモリーカードを○で表しています。

対応メモリーカード	静止画	動画	本書での表現
メモリースティック XC-HG デュオ	○	○	メモリースティック XC デュオ
メモリースティック PRO デュオ	○	○(Mark2のみ)	メモリースティック PRO デュオ
メモリースティック PRO-HG デュオ	○	○	
メモリースティックマイクロ (M2)	○	○(Mark2のみ)	メモリースティック マイクロ
SDメモリーカード	○	○(Class 4以上)	SDカード
SDHCメモリーカード	○	○(Class 4以上)	
SDXCメモリーカード	○	○(Class 4以上)	
microSD メモリーカード	○	○(Class 4以上)	microSD メモリーカード
microSDHC メモリーカード	○	○(Class 4以上)	
microSDXC メモリーカード	○	○(Class 4以上)	

記録できる枚数/時間については、92~93ページをご覧ください。
容量ごとの一覧を参考に、メモリーカードの容量を選んでください。

ご注意

- すべてのメモリーカードの動作を保証するものではありません。ソニー製以外のメモリーカードについては、各メーカーにお問い合わせください。
- “メモリースティックマイクロ”、microSD メモリーカードを本機でお使いの場合は、必ず専用のアダプターに入れてお使いください。

静止画の記録可能枚数と動画の記録可能時間

記録枚数/時間は、撮影状況および使用するメモリーカードによって異なる場合があります。

静止画

[画像サイズ] : [L:20M]

[横縦比] : [3:2] のとき*

(単位: 枚)

画質	本機でフォーマットしたメモリーカード					
	2GB	4GB	8GB	16GB	32GB	64GB
スタンダード	295	590	1200	2400	4800	9600
ファイン	170	345	690	1350	2800	5500
RAW+JPEG	58	115	235	470	950	1900
RAW	88	175	355	710	1400	2850

* [横縦比] を [3:2] 以外に設定しているときは、上記の枚数より多く記録できます (RAW設定時は除く)。

ご注意

- 他機で撮影した画像を再生すると、実際の画像サイズと異なって表示される場合があります。

動画

動画ファイルを合計したときの最大記録可能時間の目安です。

記録設定	本機でフォーマットしたメモリーカード					
	2GB	4GB	8GB	16GB	32GB	64GB
60i 24M(FX)	10分	20分	40分	1時間 30分	3時間	6時間
60i 17M(FH)	10分	30分	1時間	2時間	4時間 5分	8時間 15分
60p 28M(PS)	9分	15分	35分	1時間 15分	2時間 30分	5時間 5分
24p 24M(FX)	10分	20分	40分	1時間 30分	3時間	6時間
24p 17M(FH)	10分	30分	1時間	2時間	4時間 5分	8時間 15分
1440×1080 12M	15分	40分	1時間 20分	2時間 45分	5時間 30分	11時間 5分
VGA 3M	1時間 10分	2時間 25分	4時間 55分	9時間 55分	20時間	40時間 10分

- 連続撮影可能時間は1回の撮影で約29分です(商品仕様による制限)。また、記録方式の設定をMP4(12M)にした場合、連続で撮影できる時間は約15分です(ファイルサイズ2GBによる制限)。

ご注意

- 撮影シーンに合わせて動画の画質を自動調節するVBR(Variable Bit-Rate)方式を採用しているため記録時間が変動します。
動きの速い映像を記録する場合、メモリーの容量を多めに使用してより鮮明な画像を記録しますが、その分記録時間は短くなります。
また、撮影環境や被写体の状態、画質/画像サイズの設定によっても記録時間は変動します。

故障かな？と思ったら

困ったときは、下記の流れに従ってください。

❶ 以下の項目をチェックする。また、

「サイバーショットユーザーガイド(HTML)」も参照し、本機を点検する。

モニターに「C/E : □□ : □□」のような表示が出たときは、「サイバーショットユーザーガイド」をご覧ください。

❷ バッテリーを取りはずし、約1分後再びバッテリーを入れ、本機の電源を入れる。

❸ 設定リセットをする(86ページ)。

❹ サイバーショットオフィシャルWEBサイトで確認する。

<http://www.sony.co.jp/cyber-shot/support/>

❺ 相談窓口に電話で問い合わせる(裏表紙)。

バッテリー・電源

本機にバッテリーを入れられない。

- バッテリーの向きを確認し、バッテリー取りはずしつまみがロックするまで挿入してください(17ページ)。

電源が入らない。

- 本機にバッテリーを取り付けた後、電源が入るまでに時間がかかることがあります。
- バッテリーが正しく取り付けられているか確認してください(17ページ)。
- バッテリーは使わなくても自然放電で少しずつ消耗します。充電をしてからお使いください。
- ソニー製純正のNP-BX1タイプのバッテリーをご確認ください。

電源が切れる。

- 本機やバッテリーの温度によっては、カメラを保護するために、自動的に電源が切れることができます。この場合は、電源が切れる前にモニターにメッセージが表示されます(4ページ)。
 - 操作しない状態が一定時間続くと、バッテリーの消耗を防ぐため、自動的に電源が切れます。電源を入れ直してください。
-

バッテリーの残量表示が正しくない。

- 温度が極端に高い、または低いところで使用しているときの現象です。
 - 使用回数や経年変化により、バッテリー容量は低下します。使用できる時間が大幅に短くなった場合は、バッテリーの寿命です。新しいものをお買い上げください。
-

バッテリー充電中、本機の電源/充電ランプが点滅する。

- NP-BX1タイプのバッテリーかご確認ください。
 - 長時間使用していないバッテリーを充電すると、本機の電源/充電ランプが点滅することがあります。その場合はカメラからバッテリーを取り出し、入れなおしてください。
-

電源/充電ランプが消えて充電が終わっても、充電ができていない。

- 温度が極端に高い、または低いところで充電しているときの現象です。バッテリーの充電は周囲温度が10°C~30°Cの環境で行ってください。
-

カメラを振ると、音がする。

- 電源が入っていない状態で、カメラを振ると音がする場合がありますが、故障ではありません。

撮影

撮影できない。

- メモリーカードの空き容量を確認してください(92,93ページ)。いっぱいのときは、下記のいずれかを行ってください。
 - 不要な画像を削除してください(68ページ)。
 - メモリーカードを交換してください。
- フラッシュ充電中は撮影できません。
- 動画撮影に使用できるメモリーカードは、91ページをご覧ください。
- [デモモード]を[切]にしてください(85ページ)。

再生

再生できない。

- メモリーカードが奥まで挿入されているか確認してください。
- パソコンでフォルダー/ファイルの名前を変更したためです。
- パソコンで画像を加工したファイルや他機で撮影した画像は、本機での再生は保証いたしません。
- 本機がUSBモードになっています。USB接続を終了してください。
- パソコン内の画像を本機で再生するには「PlayMemories Home」をご使用ください。Macで再生する場合は、Macに搭載されているアプリケーションをご利用ください。

使用上のご注意

使用/保管してはいけない場所

- ・異常に高温、低温、または多湿になる場所
炎天下や夏場の窓を閉め切った自動車内は特に高温になり、放置すると変形したり、故障したりすることがあります。
- ・直射日光の当たる場所、熱器具の近くでの保管
変色したり、変形したり、故障したりすることがあります。
- ・激しい振動のある場所
- ・強力な磁気のある場所
- ・砂地、砂浜などの砂ぼこりの多い場所
海辺や砂地、あるいは砂ぼこりが起こる場所などでは、砂がかからないようにしてください。故障の原因になるはかりか、修理できなくなることもあります。

持ち運びについて

ズボンやスカートの後ろポケットに本機を入れたまま、椅子などに座らないでください。故障や破損の原因になります。

お手入れについて

レンズやフラッシュ発光部をきれいにする

レンズやフラッシュ発光部に指紋やゴミが付いて汚れたときは、柔らかい布などを使ってきれいにしてください。

表面をきれいにする

水やぬるま湯を少し含ませた柔らかい布で軽く拭いたあと、からぶきします。本機の表面が変質したり塗装がはげたりすることがあるので、以下のことは行わないでください。

- ・シンナー、ベンジン、アルコール、化学ぞうきん、虫除け、日焼け止め、殺虫剤のような化学薬品類の使用
- ・上記が手についたまま本機を扱うこと
- ・ゴムやビニール製品との長時間の接触

モニターのお手入れ

- ・手の脂、ハンドクリーム等が付いたままにするとコーティングが剥がれやすくなりますので、早めに拭き取ってください。
- ・ティッシュペーパーなどで強く拭くとコーティングに傷がつくことがあります。
- ・モニターに指紋やゴミが付いて汚れたときは、表面のごみなどをやさしく取り除いてから、柔らかい布などを使ってきれいにすることをおすすめします。

動作温度にご注意ください

本機の動作温度は約0 °C～40 °Cです。動作温度範囲を超える極端に寒い場所や暑い場所での撮影はおすすめできません。

結露について

結露とは、本機を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本機の内部や外部に水滴が付くことです。この状態でお使いになると、故障の原因になります。

結露が起きたときは

電源を切って結露がなくなるまで約1時間放置し、結露がなくなってからご使用ください。特にレンズの内側に付いた結露が残ったまま撮影すると、きれいな画像を記録できませんのでご注意ください。

内蔵の充電式バックアップ電池について

本機は日時や各種の設定を電源の入/切に関係なく保持するために充電式電池を内蔵しています。充電式電池は本機を使用している限り常に充電されていますが、使う時間が短いと徐々に放電し1か月程度まったく使わない場合完全に放電してしまいます。充電してから使用してください。ただし、充電式電池が充電されていない場合でも、日時を記録しないのであれば本機を使うことができます。

内蔵の充電式バックアップ電池の充電方法

本機に充電されたバッテリーを入れて、電源を切ったまま24時間以上放置する。

本機の廃棄/譲渡に関するご注意

個人情報保護のため本機を廃棄・譲渡するときには以下の操作を行ってください。

- ・[設定リセット] → すべての設定をリセットする(86ページ)
- ・個人顔の全削除(82ページ)

メモリーカードを廃棄/譲渡するときのご注意

本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「削除」では、メモリーカード内のデータは完全には消去されないことがあります。メモリーカードを譲渡するときは、パソコンのデータ消去専用ソフトなどを使ってデータを完全に消去することをおすすめします。また、メモリーカードを廃棄するときは、メモリーカード本体を物理的に破壊することをおすすめします。

バッテリーについて

バッテリーの充電について

周囲の温度が10°C ~ 30°Cの環境で充電してください。これ以外では、効率のよい充電ができないことがあります。

バッテリーの上手な使いかた

- ・周囲の温度が低いとバッテリーの性能が低下するため、使用できる時間が短くなります。より長い時間ご使用いただくために、バッテリーをポケットなどに入れて温かくしておき、撮影の直前、本機に取り付けることをおすすめします。
- ・フラッシュ撮影、ズーム撮影などを頻繁にすると、バッテリーの消費が早くなります。
- ・撮影には予定撮影時間の2~3倍の予備バッテリーを準備して、事前に試し撮りをしてください。
- ・バッテリーは防水構造ではありません。水などにぬらさないようにご注意ください。
- ・高温になった車の中や炎天下などの気温の高い場所に放置しないでください。
- ・バッテリーの端子部が汚れると、電源が入りなかったり、充電ができないなどの症状が出る場合があります。このような場合は柔らかい布や綿棒などで軽く拭いて汚れを落としてください。

バッテリーの保管方法について

- ・バッテリーを長時間使用しない場合でも、機能を維持するために、1年に1回程度充電して本機で使い切り、その後本機を湿度の低い涼しい場所で保管してください。
- ・本機でバッテリーを使い切るには、スライドショー(82ページ)を再生して、電源が切れるまでそのままにしてください。
- ・本機から取り出したバッテリーは、接点汚れ、ショート等を防止するため、携帯、保管時は必ずボリ袋などに入れて金属から離してください。

バッテリーの寿命について

- ・バッテリーには寿命があります。使用回数を重ねたり、時間が経過するにつれバッテリーの容量は少しづつ低下します。使用できる時間が大幅に短くなった場合は、寿命と思われますので新しいものを

- お買い上げください。
- 寿命は、保管方法、使用状況や環境によってバッテリーごとに異なります。

Eye-Fiカードについて

Eye-Fiカードは一部の国、または地域で販売しています。

- Eye-Fiカードに関するお問い合わせは、その製造者・販売者に直接ご確認ください。
- Eye-Fiカードはご購入された国のみで使用が認められています。使用する国の法律に従ってお使いください。

保証書とアフターサービス

記録内容の補償はできません

万一、デジタルスチルカメラやメモリーカードなどの不具合などにより記録や再生されなかった場合、記録内容の補償については、ご容赦ください。

保証書は国内に限られています

このデジタルスチルカメラは国内仕様です。外国で万一、事故、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめの上、大切に保存してください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

“故障かな？と思ったら”の項を参考にして故障かどうかお調べください。それでも具合の悪いときは相談窓口にご相談ください(裏表紙)。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただき

ます。

部品の交換について

この商品は修理の際、交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

部品の保有期間について

当社はデジタルスチルカメラの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後5年間保有しています。ただし、故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

安全のために

→ 2ページもあわせてお読みください。



警告



火災



感電

下記の注意事項を守らないと、火災、大けがや死亡にいたる危害が発生することがあります。

分解や改造をしない

火災や感電の原因となります。内部点検や修理は相談窓口にご依頼ください。



分解禁止

内部に水や異物(金属類や燃えやすい物など)を入れない

火災、感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電池を取り出してください。ACアダプターやバッテリーチャージャーなどもコンセントから抜いて、相談窓口にご相談ください。



禁止

運転中に使用しない

自動車、オートバイなどの運転をしながら、撮影、再生をしたり、モニターを見ることは絶対おやめください。交通事故の原因となります。



禁止

撮影時は周囲の状況に注意をはらう

周囲の状況を把握しないまま、撮影を行わないでください。事故やけがなどの原因となります。



禁止

指定以外の電池、ACアダプター、バッテリーチャージャーを使わない

火災やけがの原因となることがあります。



禁止

機器本体や付属品、メモリーカードは、乳幼児の手の届く場所に置かない

電池などの付属品や、メモリーカードなどを飲み込むおそれがあります。乳幼児の手の届かない場所に置き、お子様がさわらぬようご注意ください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。



禁止

電池やショルダーベルト、ストラップを正しく取り付ける

正しく取り付けないと、落下によりけがの原因となることがあります。

また、ベルトやストラップに傷がないか使用前に確認してください。



指示

電源コードを傷つけない

熱器具に近づけたり、加熱したり、加工したりすると火災や感電の原因となります。また、電源コードを抜くときは、コードに損傷を与えないように必ずプラグを持って抜いてください。



禁止

可燃性/爆発性ガスのある場所でフラッシュを使用しない



禁止

その他

つづき



警告



下記の注意事項を守らないと、火災、大けがや死亡にいたる危害が発生することがあります。

フラッシュ、AF補助光などの撮影補助光を至近距離で人に向けない

- ・至近距離で使用すると視力障害を起こす可能性があります。特に乳幼児を撮影するときは、1m以上はなれてください。
- ・運転者に向かって使用すると、目がくらみ、事故を起こす原因となります。



禁止

長時間、同じ持ち方で使用しない。

使用中に本機が熱いと感じなくとも皮膚の同じ場所が長時間触れたままの状態でいると、赤くなったり水ぶくれができたりなど低温やけどの原因となる場合があります。

以下の場合は特にご注意いただき、三脚などをご利用ください。

- ・気温の高い環境でご使用になる場合。
- ・血行の悪い方、皮膚感覚の弱い方などがご使用になる場合。



禁止

ワイヤレス機能ご使用上の注意

心臓ペースメーカーの装着部位から22cm以上離して使用する

電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。



指示

病院などの医療機関内、医療用電気機器の近くではワイヤレス機能を使用しない

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。



禁止

航空機内ではワイヤレス機能を使用しない

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。



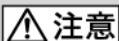
禁止

本製品を使用中に他の機器に電波障害などが発生した場合は、ワイヤレス機能の使用を中止する

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。



指示



注意



火災



感電

下記の注意事項を守らないと、けがや財産に損害を与えることがあります。

水滴のかかる場所など湿気の多い場所やほこり、油煙、湯気の多い場所では使わない

火災や感電の原因になることがあります。



禁止

ぬれた手で使用しない

感電の原因になることがあります。



ぬれ手禁止

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所に置いたり、不安定な状態で三脚を設置すると、製品が落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。



禁止

コード類は正しく配置する

電源コードやパソコン接続ケーブル、A/V接続ケーブルなどは、足に引っ掛けると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあるため、充分注意して接続・配置してください。



指示

通電中のACアダプター、バッテリーチャージャー、充電中の電池や製品に長時間ふれない

長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。



禁止

使用中は機器を布で覆ったりしない

熱がこもってケースが変形したり、火災、感電の原因となることがあります。



禁止

長期間使用しないときは、電源をはずす

長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントからはずしたり、電池を本体からはずして保管してください。火災の原因となることがあります。



スラグをコンセントから抜く

フラッシュの発光部を手でさわらない

フラッシュ発光部を指・手袋などで覆ったまま発光しない。また、発光後もしばらくは発光部に手を触れないでください。やけど、発煙、故障の原因となります。



禁止

レンズやモニターに衝撃を与えない

レンズやモニターはガラス製のため、強い衝撃を与えると割れて、けがの原因となることがあります。



禁止

電池や付属品、メモリーカード、アクセサリーなどを取りはずすときは、手をそえる

電池やメモリーカードなどが飛び出しがあり、けがの原因となることがあります。



指示

その他

**△ 危険 電池についての
安全上のご注意とお願い**

漏液、発熱、発火、破裂、誤飲による大けがや
やけど、火災などを避けるため、下記の注意
事項をよくお読みください。

△ 危険

- 乾電池型充電式電池・バッテリーパックは指定されたバッテリーチャージャー以外で充電しない。
- 電池を分解しない、火の中へ入れない、電子レンジやオーブンで加熱しない。
- 電池を火のそばや炎天下、高温になった車の中などに放置しない。このような場所で充電しない。
- 電池をコインやヘアピンなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。
- 電池を水・海水・牛乳・清涼飲料水・石鹼水などの液体でぬらさない。ぬれた電池を充電したり、使用したりしない。



禁止

△ 警告

- 電池をハンマーなどでたたいたり、踏みつけたり、落下せしめたりするなどの衝撃や力を与えない。
- バッテリーパックが変形・破損した場合は使用しない。
- アルカリ電池/ニッケルマンガン電池は充電しない。
- 外装シールをはがしたり、傷つけたりしない。外装シールの一部またはすべてをはがしてある電池や破れのある電池は絶対に使用しない。



禁止

△ 注意

- 電池は、+、-を確かめ、正しく入れる。
- 電池を使い切ったときや、長期間使用しない場合は機器から取り出しておく。



指示

お願い



Li-ion

リチウムイオン電池

充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については、
一般社団法人JBRCホームページ

<http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html> を参照して下さい。

主な仕様

本体

[システム]

撮像素子 : 13.2 mm×8.8 mm (1.0型)

Exmor R CMOSセンサー

総画素数 : 約2090万画素

カメラ有効画素数 : 約2020万画素

レンズ :

カール ツァイス バリオ・ゾナーT*

3.6倍ズームレンズ

f=10.4 mm ~37.1 mm

(28 mm ~ 100 mm (35 mmフィルム換算値))、F1.8 (W) ~F4.9 (T)

動画撮影時(16 : 9) :

29 mm ~ 105 mm^{*1}

動画撮影時(4 : 3) :

36 mm ~ 128 mm^{*1}

^{*1} [手ブレ補正]が[スタンダード]のとき

手ブレ補正 : 光学式

露出制御 : 自動、絞り優先、シャッタースピード優先、マニュアル露出、シーンセレクション

ホワイトバランス : オート/太陽光/日陰/曇天/電球/蛍光灯(温白色/白色/昼白色/昼色)/フラッシュ/色温度・カラーフィルター/カスタム

記録方式 :

静止画記録方式 :

JPEG (DCF、Exif、MPF Baseline) 準拠、RAW (ソニー ARW 2.3 フォーマット)、DPOF 対応

動画記録方式 (AVCHD 方式) :

AVCHD 規格 Ver.2.0 準拠

映像 : MPEG-4 AVC/H.264

音声 : Dolby Digital 2ch

ドルビーデジタルステレオクリエーター搭載

• ドルビーラボラトリーズからの実権に基づき製造されています。

動画記録方式 (MP4 方式) :

映像 : MPEG-4 AVC/H.264

音声 : MPEG-4 AAC-LC 2ch

記録メディア :

"メモリースティック XC デュオ"、

"メモリースティック PRO デュオ"、

"メモリースティックマイクロ"、SD

カード、microSD メモリーカード

フラッシュ : 撮影範囲 (ISO 感度

(推奨露光指数) がオートのとき)

約0.3 m ~ 約15.0 m (W) /

約0.55 m ~ 約5.7 m (T)

[入出力端子]

HDMI 端子 : HDMI マイクロ端子

マルチ端子^{*} : USB 通信

USB 通信 : Hi-Speed USB (USB 2.0)

* この商品にはマイクロ USB 規格に対応した機器をつなぐことができます。

[モニター]

液晶モニター :

7.5 cm (3.0 型)、TFT 駆動

総ドット数 : 1 228 800 ドット

[電源・その他]

電源 : リチャージャブルバッテリー

パック NP-BX1、3.6 V

AC アダプター

AC-UB10/UB10B/UB10C/UB10D、5 V

消費電力 (撮影時) : 約1.5 W

動作温度 : 0 °C ~ 40 °C

保存温度 : -20 °C ~ +60 °C

外形寸法 (CIPA 準拠) :

101.6 mm × 58.1 mm × 38.3 mm

(幅 × 高さ × 奥行き)

本体質量 (CIPA 準拠)

(バッテリー NP-BX1、

"メモリースティック デュオ" を含む) :

約281 g

マイクロホン : ステレオ

スピーカー : モノラル

Exif Print : 対応

PRINT Image Matching III : 対応

[ワイヤレス LAN]

対応規格 : IEEE 802.11b/g/n

使用周波数帯 : 2.4 GHz 帯

セキュリティ : WEP/WPA-PSK/WPA2-PSK

接続方式：WPS(Wi-Fi Protected Setup)/
マニュアル
アクセス方式：インフラストラクチャーモー
ド
NFC：NFCフォーラム Type 3 Tag準拠

ACアダプター AC-UB10/UB10B/UB10C/ UB10D

定格入力：AC 100 V～240 V、
50 Hz/60 Hz、70 mA

定格出力：DC 5 V、0.5 A

動作温度：0 °C～40 °C

保存温度：−20 °C～+60 °C

外形寸法：約50 mm×約22 mm×約
54 mm(幅×高さ×奥行き)

本体質量：約48 g

リチャージャブルバッテリー パックNP-BX1

使用電池：リチウムイオン蓄電池

最大電圧：DC 4.2 V

公称電圧：DC 3.6 V

容量：4.5 Wh(1 240 mAh)

本機や付属品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります
が、ご了承ください。

商標について

- 以下はソニー株式会社の商標です。
Cyber-shot、“サイバーショット”、
“Memory Stick”、“メモリースティック”、
、“Memory Stick PRO”、
“メモリースティック PRO”、
MEMORY STICK PRO、
“Memory Stick Duo”、“メモリース
ティック デュオ”、**MEMORY STICK DUO**、
“Memory Stick PRO Duo”、“メモリー
スティックPRO デュオ”、
MEMORY STICK PRO Duo、
“Memory Stick PRO-HG Duo”、
“メモリースティックPRO-HG デュオ”、

MEMORY STICK PRO-HG Duo、
“Memory Stick XC-HG Duo”、“メモ
リースティック XC-HG デュオ”、
MEMORY STICK XC-HG Duo、
“Memory Stick Micro”、“メモリース
ティック マイクロ”、
MEMORY STICK MICRO、“MagicGate”、
“マジックゲート”、
MAGIC GATE、“プラビア”、“プラ
ビアプレミアムフォト”

- Blu-ray Disc™およびBlu-ray™は
ブルーレイディスクアソシエーションの商
標です。
- AVCHD Progressiveおよび
AVCHD Progressiveロゴは、
ソニー株式会社とパナソニック株式会社
の商標です。
- Dolby、ドルビー、およびダブルD記号は、
ドルビーラボラトリーズの商標です。
- HDMI、HDMI High-Definition
Multimedia Interface およびHDMIロ
ゴは、HDMI Licensing LLC の商標もし
くは米国およびその他の国における登録
商標です。
- Microsoft、Windows、DirectX、
Windows Vistaは、米国
Microsoft Corporationの米国およびそ
の他の国における登録商標または商標で
す。
- Mac、Mac OS、iMovie、App Storeは
Apple Inc.の登録商標または商標です。
- iOSは、米国シスコの商標もしくは登録商
標です。
- Intel、Pentium、Intel Coreは
Intel Corporationの登録商標または商
標です。
- SDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- Android、Google PlayはGoogle Inc.
の登録商標または商標です。
- Wi-Fi、Wi-Fiロゴ、
Wi-Fi PROTECTED SET-UPは
Wi-Fi Allianceの商標または登録商標で
す。
- NマークはNFC Forum, Inc.の米国およ

びその他の国における商標あるいは登録商標です。

- おサイフケータイマークは、フェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- 「おサイフケータイ」は、株式会社NTTドコモの登録商標です。
- DLNAおよびDLNA CERTIFIEDはDigital Living Network Allianceの商標です。
- 「プレイステーション 3」は株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの商品です。また、「PlayStation」および“PlayStation”は同社の登録商標です。
- Facebook、「f」ロゴはFacebook, Inc.の商標または登録商標です。
- YouTubeおよびYouTubeロゴは、Google Inc.の商標または登録商標です。
- Eye-FiはEye-Fi, Inc.の商標です。
- その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中にはTM、[®]マークは明記していません。



- “Works with PlayStation 3”ロゴは、特定のPlayStation 3専用ソフトウェアと連携することで、さらなる楽しみを提供する製品に対するマークです。



索引

ア行

赤目軽減発光	80
明るさ	53
アクセスポイント登録	85
アップロード設定(Eye-Fi)	84
一覧表示	67
イラスト調	52
色空間	78
印刷	68, 83
打ち上げ花火	43
エリア設定	84
オートHDR	77
オートフォーカス	47
オートフォーカスエリア	47
オートフレーミング	77
オートレビュー	80
おまかせオート	29
音声記録	79
音量	66, 83

力行

絵画調HDR	51
回転	65
顔検出/スマイルシャッター	77
顔優先追尾	82
画質	37
画像サイズ	36
画像サイズ(デュアル記録)	79
画面表示一覧	88
管理ファイル修復	83
機器名称変更	85
記録可能枚数/時間	92
記録設定(動画)	62
記録フォルダー選択	83
記録方式(動画)	62

グラフィック表示	35
クリエイティブスタイル	77
グリッドライン	80
言語	3
高感度	43
高感度ノイズリダクション	78
個人顔登録	82
コントラスト	77
コントロールホイール	23
コントロールリング	59, 81

サ行

再生	65, 66
削除	68
撮影	28
撮影アドバイス	27
撮影可能枚数	20
撮影モード	39
シーンセレクション	43
自分撮り	56
絞り優先	44
シャープネス	77
シャッタースピード優先	45
充電	17
初期化	68
人物ブレ軽減	43
水彩画調	52
水準器	35
スイングパノラマ	41
ズーム	31
ステップズーム	80
スポーツ	43
スポット測光	77
スマートフォン操作	76
スマートフォン転送	82
スマイルシャッター	77
スライドショー	82
スローシンクロ	33
静止画/動画 切換	82

設定リセット	86
セルフタイマー	56
全画素超解像ズーム	31
選択顔記憶	48
操作音	69
速度優先連続撮影	55
測光モード	77
ソフトウェア	70
ソフトハイキー	51
ソフトフォーカス	51

タ行

ダイレクトマニュアルフォーカス	49
縦記録画像の再生	83
縦横比	76
中央ボタンの機能	81
調光補正	77
長秒時ノイズリダクション	78
追尾フォーカス	48
デジタルズーム	31
手ブレ補正	78, 79
手持ち夜景	43
デモモード	85
デュアル記録	63
テレビ鑑賞(Wi-Fi)	82
テレビで見る	68
電子音	69
トイカメラ	51
動画	61, 66
動画記録設定	62
動画記録方式	62
登録	58
時計合わせ	22
ライブモード	55, 56

ナ行

日時設定	22
ノイズリダクション	78

ハ行

バージョン表示	85
パートカラー	51
ハイコントラストモノクロ	51
パソコン	70
パソコン保存(Wi-Fi)	82
バッテリー	17
花火	43, 46
パノラマ	41
パノラマ：撮影方向	41
バルブ撮影	46
パワーセーブ	84
ピーキング	80
ピクチャーエフェクト	51
飛行機モード	85
ヒストグラム	35
左ボタンの機能	81
日付書き込み	69
美肌効果	77
ビューモード	66
ピント拡大時間	82
ファイル番号	83
ファインダー明るさ	84
ファンクションボタン	25, 58
風音低減	79
風景	43
フォーカスマード	47
フォーカスロック	47
フォーマット	68
フォルダー新規作成	83
グラケット	55
フラッシュモード	33
グラビアリンク	85
プリント	68, 83
プレミアムおまかせオート	29
プログラムオート	30
プロテクト	83
ペット	43

ポートレート	43
ポスタリゼーション	51
ポップカラー	51
ボリューム	66
ホワイトバランス	77

マ行

マイフォトスタイル	57
マクロ	43
マニュアルフォーカス	49
マニュアル露出	46
マルチインターフェースキー	15
マルチショットノイズリダクション	54
右ボタンの機能	81
ミニチュア	52
メニュー	26
メニュー呼び出し先	84
メモリーカード	21, 91
メモリーカード残量表示	83
モードダイヤル	39
モードダイヤルガイド	84
モニター明るさ	84

ヤ行

夜景	43
夜景ポートレート	43
夕景	43
ユーザーガイド	11
横縦比	76

ラ行

落下検出	85
リセット	86
リッチトーンモノクロ	51
料理	43
リングのズーム機能	80
レトロフォト	51
連続撮影	55
露出補正	53

アルファベット順

AEL(AEロック)	81
AF(オートフォーカス)	47
AF補助光	78
AVCHD	62
AWB	77
A(絞り優先)	44
DISP	35, 80
DMF	47
DPOF	83
DRO/オートHDR	77
Dレンジオプティマイザー	77
Eye-Fi	99
FINDER/LCD 切換設定	80
Fn(ファンクション)ボタン	25, 58
HDMI解像度	84
HDMI機器制御	85
Image Data Converter	74
ISO感度	54
JPEG	37
Mac	70, 74
MACアドレス表示	85
MENU	26
MFアシスト	49, 82
MF(マニュアルフォーカス)	49
MOVIE(動画)ボタン	61
MP4	62
M(マニュアル露出)	40
NFC	10
PlayMemories Home	70
P(プログラムオート)	30
RAW	37
SCN	43
SSID・PWリセット	85
S(シャッタースピード優先)	40
USB LUN設定	85
USB給電	85
USB接続	85

WB.....	77
Wi-Fi	10
Windows	70, 74

サイバーショットの最新サポート情報
(製品に関する Q&A、パソコンとの接続方法、使用可能なメモリーカードなど)
<http://www.sony.co.jp/cyber-shot/support/>



ソフトウェアのサポート情報
<http://www.sony.co.jp/support-disoft/>

サイバーショットオフィシャル WEB サイト
<http://www.sony.jp/cyber-shot/>

サイバーショットの最新情報、撮影テクニック、アクセサリーなどに関する情報を掲載しています。
英語の取扱説明書のダウンロードもできます。
(English manual download service is available.)

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。
<http://www.sony.jp/support/>

使い方相談窓口	修理相談窓口
フリーダイヤル ・ · · · · 0120-333-020	フリーダイヤル ・ · · · · 0120-222-330
携帯電話・PHS・一部の IP 電話 ・ · · · · 0466-31-2511	携帯電話・PHS・一部の IP 電話 ・ · · · · 0466-31-2531

※取扱説明書等の購入相談はこちらへお問い合わせください。



FAX (共通) 0120-333-389

上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に
「401」+「#」(本機や付属品)
「404」+「#」(ソフトウェア「PlayMemories Home」)
を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1
<http://www.sony.co.jp/>

